

この夜、主は彼らをエジプトの国から連れ出すために、 寝ずの番をされた。

(出エジプト記 12:42)

ハレルヤ！実り豊かな秋、各地で収穫感謝祭の季節となりましたね。収穫祭の側面も持つと言われる「仮庵の祭り」について、読ませていただき教えられました。

「仮庵の祭り」には、ルールがあるのだそうです。「ひたすら喜ぶこと！」すごいです。奴隷から自由人になったけど、家は脆弱な仮庵。創造主の考えもはっきりとはわからない。でも、「主が寝ずの番をされ」（出エジプト 12:42）、守ってくださっていることは約束されて

います。だから、すべてを感謝し、主にあって「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について感謝しなさい」（1テサロニケ人への手紙 5:16-18）と命じられ、また、私たちはそのようにできるわけです。

「土」（アダマ）から造られた私たち人間（アダム）は、それだけでは何も成せない無力な存在です。しかし土がすべてを生み出す力を持っているように、神と共に歩めば、多くのものを生み出す創造の力を持っている。だから、今日も、寝ずの番をしている神を見上げて、感謝し、喜び、多くの可能性を持つ、子どもたちを主にあって育てていければと思います。（参照：石堂ゆみ / オリーブ山便り 10/8「スコテ（仮庵）－新しい出発」）

チア・にっぽんにも、今年、たくさんの収穫があり、神様と皆さんに心から感謝し、喜んでいる次第です。今年、最後の企画、白馬セミナーもいよいよ近づきました。ホームスクーリング・ムーブメントの父として用いられ、多くの実績を残してこられたグレッグ・ハリス氏を始め、素晴らしい講師陣がかけつけてくださいます。寝ずの番をしてくださる神に願い求め、「共に高嶺を目指す」セミナー、ぜひ、ご参加ください。どうしても今年無理な皆さんは、どうぞ、祝福を祈ってください。皆さんへのますますの祝福を祈っています。



高嶺を目指して、限界まで走る（チア・オリンピックにて）

三浦綾子さんが元気な頃、作家志望の女子高生たちが三浦家を訪ねるシーンを取材させていただいたことがあります。優しい秋の日差しが注ぐ午後でした。「どうしたら、良い作品が書けますか?」。綾子さんは、その日体調が悪く、咳き込んで、光世さんに1分ほど背中をさすってもらった後で、にっこり笑って答えます。「あら、良い質問ね。それはね、自分が感動したことを書くの。うまく書こうと思う必要はないの。自分が感動したことをそのまま書くのよ。そのために、日々、感動することにアンテナを張っておくの」。心に染み入るアドバイスで、聞いていて、私自身、感動しました。今月、いよいよ白馬セミナーです。今年も、多くの感動と励ましとチャレンジを与える機会になればいいと祈っています。

10月、三浦綾子文学館の理事長さん、理事さんらに日本の大手映画会社A社のプロデューサーのBさんを紹介する時を持ってました。4年半後に、三浦綾子さんの生誕100年の節目を迎えることもあり、綾子さんの生涯をつづった『道ありき』のドラマ化を双方が考えておられるためです。「(C理事)文学館では、三浦光世さん、綾子さんのご自宅の書斎を保存させていただくことが決

定し、本館の隣に移設展示することが決定しました。最近、読者の皆さんと綾子さんたちがやり取りした手紙も所蔵できることともなりました」

「(稲葉)それは素晴らしい。読者からの手紙は、私がNHKで番組企画を通す時の鍵ともなりました。毎月段ボール箱2箱ぐらい届き、綾子さんはそのほとんどに返信をされ、口述筆記で光世さんが書いておられました。毎月4本の連載を抱えておられて、とても忙しく、ガンとの闘いの中で厳しかったのですが、1通1通に返信されていました。

そこには、誰にも言えない相談事が書かれていました。病気になって自殺したくなったとか、夫の不倫による憎しみとか、父親に犯された近親相姦とか。三浦夫妻は、真剣に答えておられました。

僕は4年の取材期間中、三浦家に届いた手紙と三浦夫妻からの返信は、全て読ませてもらっていました。1通1通に込められた綾子さんや光世さんの想いには、本当に感動した日々でした。そのあたり、三浦家を通して、現代に生きる人間の苦悩、そこに差し込む愛と光、人間の在り方を示す番組を提案し、道が開かれていき



チームワークで応援！（1500m走 ゴール付近）

ました」

「(B プロデューサー) そうでしたか。朝ドラとかであれば、希望に満ちた出来事を描けて、励まされて一日が始まる感じでいいのではないかと」

「(C 理事) それは良いですね。三浦綾子さんの人生は奇蹟というか、本当にすごいから」

「(D 理事長) 最近、改めて『道ありき』を読んだのですが、本当にすごい。前川さんや光世さんもすごいし」

「(B プロデューサー) 光世さんと前川さんもそっくりですし」

「(稲葉) そうですよ。光世さんは、いつも背広の胸ポケットに前川さんの写真を入れて、綾子さんを預かったことを心に刻んでおられた。

「道ありき」のドラマ化はすごい名案だと思います。北海道では、三浦綾子さん、光世さんへの愛情と敬意は、本当に深いです。家族か親戚の一人のような身近さと誇りを持っています。三浦綾子さんと言えば、まさにオール北海道で応援となります。思想信条、関係なく、多くの皆さんがその生き方に感動され、尊敬し、希望を与えられています。北海道のメディアも皆、協力的で、一斉に取り上げるし。もちろん、全国の三浦文学ファンも応援しますが、オール北海道の応援も起きるので、番組企画、どうぞ、よろしく願います」

「(B プロデューサー) 分かりました。明日、NHKのプロデューサーさんともミーティングがあります。そこでも話してみます」

「(C 理事) どうぞ、よろしく願います」

番組化には、時間がかかると思いますし、多々、ハードルはあると思います。でも神様の祝福を祈りたいし、皆さんに祈っていただけたらと思います。

時空を超えて学ぶ機会

ー 丸森相談会に参加して

10月下旬、日ごろ、コンベンションや白馬セミナーなどを手伝ってくださる丸森の伝道チームの相談会が、仙台と丸森で行われました。世界10数か国に300人あまりの伝道者を送り出し、おそらく日本のキリスト教史でも稀有の働きをされている皆さんです。年に2回、各国からの代表者の

皆さんら80名あまりが一堂に会して、5日ほど、率直に話し合います。私もこの18年、参加させていただくことが許され、多くを学ぶことができました。今回は、二つのことを学ばされました。

忍び寄る「伝道を規制する法制化」

一つは、世界各地で、テロ対策との名目で監視体制が強化され、伝道を規制する方向で法制化が進んでいるとのこと。ロシア、南アジア、ネパール、中央アジアと驚きのレポートが続きました。各国で、登録制等が増え、政府の好まない伝道活動があれば、追放や懲罰対象となったり、ビザを発行せず、事実上、排除できる法制度に変わる等、伝道の法規制が進んでいるとのこと。

日本は、「多様な教育をめぐる教育機会確保法案」関連で、事実上、規制されかけましたけど、家庭訪問の義務化や教育委員会の許認可制の条項等が削除され、守られて本当に良かったです。とはいえ、どのような法制度ができようと、神様の守りは完全です。

伝道との関連で警察と交渉してこられたAさんの話に励まされました。「警察の方々も、私たちが福音を伝えるべき相手だと、しっかり意識して接すると、私たちにあるキリストの姿を感じ取って、魂が触れ合ってくるんだよね」「確かに。チアのメンバー宅に警察の方が来られたけれど、まっすぐに話されたら、警察官も涙ぐみ、『私には高校生の娘がいます。このような思いを持って、ホームスクーリングを実践されている方が日本にいるんだと話しますね』とコメントくださったそうです」

時代は、ますます愛が冷え、暗くなっていくわけですが、その中でキリストの光がますます輝いていくこと、またホームスクーラーの役割が大きいことを改めて思いました。

「子育て」にどのように向かうか

もう一つ、深く学ばされたことは、子育てに対する姿勢です。完璧な宣教団体も、人物も、この地上にはなく、丸森の皆さんも、子育てについて深刻な問題に直面することもあります。

聖書と伝道に命をかけてこられた皆さんに与えられた困難と、その解決がどのようなものか、数十年先の世界を先取りして見せてもらっているような気持ちで、聞いていました。以下、討論の一部です。

Fさん「誰が子どもたちを、助けますか？ お父さんです。私も、父の在り方について、たくさんのアドバイスを受けました。それを100%信じ、実践を目指しました。それでも、問題は生じました。多分、子どもたちに起こった問題の半分以上は、私の家の子の問題です。本当にごめんなさい。どうぞ、皆さん、小さなことでも気づいたことがあれば話してください。聞きたいです。直したいです。何度でもお願いします。その心を忘れなければ、神様がきっと助けてくれると思います。神様から、たくさんの力をもらって歩みたいです」

Gさん「親は、自分の子どもが見えなくなります。世の中は、厳しいです。仕事は厳しい。上司は公平ではない。親は、しっかりと教えていく必要があります」

Hさん「神様は、どんな人を用いるか分からない。だから、心をゆるやかにして、子どもたちの可能性を見ていく必要がある。私自身、だめな人、できない人だと紹介されて丸森へ来ました。でも、だめな人と紹介されてきた私が、今日まで伝道を続けることが許されました。心を開いていきましょう。子どもたちに、神様が何を与えてくれるか、分からない」

Iさん「子どもたちは、自分のDNAを引き継いで悪いところがある。そこを見つめる必要がある」

Jさん「悪魔は分裂させようとする。伝道できないようにさせる」

Kさん「神様の褒美あり。全力で子どもたちのことを守っていきましょう。親も他人の意見を聞かなければだめだし、指導者も霊的なことに熱心にならなければ、子どもとは関われない」

Lさん「お互いに愛し、助け合うために集まっている。そこがポイント」

Mさん「お父さんが守るしかない。また、まわりの人々が、お父さん、お母さんを助けて、守るしかない。その視線を持っていないとだめ」

Nさん「この世の人は、自分のために生きている。福音と関係ない話がたくさん続く。そのような環境に置かれた若者たちをいかにして助けるか、その責任が私たちにある」

Oさん「これは、一生の闘い、一生の課題。私たちは、福音のために生きると言っているが、その目的が薄れてないか。その目的が分かっている子どもたちは明るい。自由を求める社会と言われるが、どんな自由？ 髪型、身だしなみの自由？ 好き勝手に買い物をする自由？ インターネット？ 聖書は、自由奔放を抑える必要性を問う。神様や親に従順することの大切さ。厳しさ、愛。厳しく指摘したら愛が無いのか？狭き門？」

Pさん「私たちの責任感の足りなさ」

Qさん「周囲の皆さんは、遠慮が過ぎるのではないか。問題を感じた時に、率直に指摘できる雰囲気は薄れてないか。親が注意をはねつけるのであれば、周囲は何も言えなくなってくる」

Rさん「子どもたち一人ひとりに、周囲の大人が話しをすることも大事」

Sさん「自分の接し方に、子どもの命がかかっている、その自覚が足りない。子どもたちが無駄なものにとらわれていないかどうか。親が関心を持って見ていく必要がある」

Tさん「お父さんたち同士の話し合い、励まし合いが必要だ」

聖書に生きる実践をする方々の「子育て」についての反省と苦悩と提言。どれも考えさせられる大事な言葉だと思いました。

ワクワク集中勉強合宿 with ジョイスイミング 祝福の中で終わる！

今年もワクワク集中勉強合宿を、神様の助けと恵みの中で120名の皆さんと感謝しながら終わることができました。並行して行われたジョイ・スイミングもとても良かったです。

毎回、集中して勉強する子どもたちの姿には、感動を覚えます。今年は、自習や暗算テストに加え、「英作文セミナー」「数学克服セミナー（正式名送ります）」「親子で取り組む作文・小論文・感想文セミナー 親子で取り組む7つの秘訣—カンカラコモデケア」等を並行して開催し、好評でした。

英作文は、「英語勉強だけでなく、日ごろのプレゼンの練習・意識というか、結論を先に言い、その後で理由などの詳細を話す、そうしたコミュニケーション能力とも重なると気づき、興味深かったです」。数学は「分かりやすく、全体像がつかめ、苦手意識が克服できた」、小論文は、「カンカラコモデケアは、新しく、分かりやすく、合点がいく内容で、衝撃を受けました。本やDVDにして売ってほしいと思いました」といった声が寄せられました。数学シリーズは、順次、チアWEBで公開予定です。ご利用ください。

ジョイ・スイミングに名乗り出た 10名のボランティアコーチたち



吹き矢クラスも好評！（上）伸びゆく英語多読クラス（下）
（ワクワク集中勉強合宿にて）

ジョイ・スイミングは、今年も良かったです。特に感動したのは、初めて水に入る子どもたちを含めた初心者を守る、ボランティア・チームの約10名の皆さんです。現役のスイミングクラブコーチで、ホームスクーラーOGの若生香織さんの指導の下、約10名が50名あまりの子どもたちを指導するので、とても充実したクラス。「すごい！スイミングクラブに通わせていますが、このような個人レッスンは無理で、本当に感謝」とのことでした。

ボランティアのためにわざわざ長野から駆けつ

けてくれた現役ホームスクーラーもいるし、本当はレースに参加予定だった方々も。レースの順番が来たら、「どうぞ、レースへ」と何度も呼びに行ったのですが「こっちが楽しいので、今年はレースいいです」と、コーチングに専心され、感動の時でした。

英語多読の結実に驚く

私自身、CSS（チア・サポートスクール）で1年前から始まった「英語多読セミナー」に2日間参加し、ティーンに加え、お母さんと子どもたちが喜んで取り組んでいる姿に、心打たれました。「子どもがこんなに英語を読めると思わなかった」「GrapeSEEDをやってきたけど、こんなに読書が好きで、喜んでやるとは…」と喜びの声があふれました。CSSでは、100万語を読破した生徒が多数出ていて、中には200万語に近づいている子どもたちもいます。

当初は私も、文字数を数えながら読むのはどうなんだろう…と思ったりもしましたが、子どもたちが楽しく多読を進め、英語に抵抗がなくなり、力を伸ばしている姿を見て、踏み出して良かったと思いました。

全国のホームスクーラーの英語力は比較的高い

ですが、「多読」も始めたらもっと実力を伸ばせるのではと思っています。通信制を含めて、全国から「CSS多読コース」の受講が可能ですので、どうぞお問い合わせください（白馬セミナーで、関連分科会を開講予定です）。

伝道の実を結び始める CSS

CSS改革500日、開校8年目が近づき、一層、実が結ばれていく姿を見て、主に感謝しています。うれしいのは、個々のティーン、ご家族に、具体的に関わることです。もちろん、親御さんが中心ですが、チームでホームスクーリングライフをバックアップしています。また、究極的な目的として、伝道の核となる子どもたちが育ってきていることが感謝です。

今夏、7名のCSS・0B/0Gが夏の伝道企画に参加しました。A君は、6月に韓国と南アジアへの伝道に出発し、4ヶ月が過ぎました。受け入れてくださった韓国チームのリーダーによれば「A君は、本当に真剣。先日、韓国で代表的なB牧師がチームを訪ねてきました。そこでA君が、こちらで覚えた韓国語で、福音の紙芝居をプレゼンし、B牧師は深く感銘を受けた様子でした。翌朝、一緒に路傍伝道に参加していただき、冬の伝道計画地の



チア・伊勢崎伝道デーいざ、出陣！

各教会に連絡を取ってくださり、様々な連携づくりをサポートしてくれました」とのことです。

A君は、白馬の時期に日本に一時帰国し、12月中旬には、迫害が厳しい南アジアの国で1ヶ月半、訓練を受ける予定です。

南アジアの国では、私も4度ほど伝道体験を許され、各地の一般の市場で、300人以上の人々がわっと集まり、現地の晩御飯代分ほどを支払って、トラクト等を買って福音を読むという人間の魂の原風景を見るような体験等をさせていただきました。

クリスマスの時期は私は体験していませんが、トラクトを無料で配ると、400人の人が手を伸ばしてくるといふすごい体験が待っているとのこと、良い体験をして戻ってくることを祈っています。さらにCさんとDさんが、タイに1ヶ月半～2ヶ月の予定で伝道訓練に出かけます。

CSSが全国のホームスクーラーたちの先駆け、模範となってほしいと願って設立したわけですが、学術分野はもちろん、主目的の「伝道」の分野でも実を結んでいて、心から感謝です。全国の皆さんも、もし導かれたら、ぜひご利用ください。

推薦者とご本人が「ノンクリスチャンです」との中で参加されたGさんのコメントです。「最初のセッションで、ホームスクーラーが8歳の子からティーンまで、次々と自由に積極的に質問する



全国2番目の株式会社立小学校&伝道に導かれて（田村正幸校長）

姿にまず驚いた。学校では、ここで目立っては後でどう思われるか、いじめられないかとか、いろいろと考えて、何も聞かないケースも多いと思うので。すごくのびのびしてて、自由闊達で積極的な感じがした」。人生や神様との関係を考える機会ともなり、帰宅後、Gさんが洗礼を受ける決心をしたとのうれしい連絡がありました。

チア・伊勢崎伝道デーの恵み

「チア・伊勢崎 東京路傍伝道デー」も、台風一過の9月18日（祝・月）、紺碧の秋空の下に開催されました。こちらも約80名の皆さんと、ホームスクーリングの究極



先輩の励ましの中で

の目的、「伝道・世界宣教」に向けて、上野公園
 界隈の住宅へ戸別配布をしたり、路傍賛美伝道を
 したりして、魂の踊る素晴らしい一日となりまし
 た（協賛 One Hope）。

「子どもたちの伝道への熱い思いと勇気に励ま
 された!」「友達が人々にどんどんトラクトを手
 渡す姿にチャレンジされた」「おばあちゃんから
 褒められ、ジュースあげようかと声をかけられた」
 「体は疲れたけど、心も魂も喜びに満ちた」「帰っ
 てから、近所に配った」とうれしい声が続きまし
 た。

日本で2番目の株式会社立小学校設立と伝道

フェリーチェ学園を展開する「伊勢崎」の皆さ
 んと出会ったのは、チアを発足して4年後の2004
 年春。その後、チャーチスクールを続けながら、
 路傍伝道を続けてこられました。その道程は、ま
 さに山あり、谷ありでした。

私が伺った日に、「持ち寄りバザー」を開いて、
 何とか経済を補おうと、会堂の片隅が、皆さんの
 家からの家財や衣料品が積み上げられている時が
 ありました。スクールの生徒数が急激に増え、一

度建てた校舎では入りきらず、新たな借金をして、
 新校舎を建てる必要に迫られたこともありまし
 た。「いつ自己破産するか。そんな不安がよぎり
 ながらも、神様の導きだけを求めて進みます」と
 語っておられたこともあります。

そんな中でもぶれなかったのは、「路傍伝道」
 の実践でした。その後、地域の行政をも巻き込み、
 特区制度で政府に認められ、全国では2例目とな
 る株式会社の経営する小学校である、フェリー
 チェ玉村国際小学校へと導かれました。現在、幼
 稚園や子ども園、小学校を合わせて、児童生徒数
 240名を超える学校となっています。そうした
 中、戸別の伝道パンフレット配りを継続され、群
 馬県内2巡目（95万世帯配布）まわり、東京都
 内では130万世帯以上に、トラクトを配布してい
 ます。

伝道に出た時に与えられる恵みと祝福

この日の伝道デーでは、「チアの皆さん、伝道
 に慣れていきますね」と励ましてくださりつつ、リー
 ダーシップを取っていただきました。

子どもたちが、積極的にパンフレットを配る姿
 を見て、久々にチアの企画に参加した方は、「本



路傍賛美にて



路傍伝道にて（東京・上野）

当に感激！すごい」と喜んでおられました。

堀井大使君（9歳）は、郵便箱にトラクトを入れるのは大得意。お母さんともよくパンフレット配りをしているのだそうです。でも、「いやー、僕は直接、手渡すのはできない。ジョセフ、すごいんだよ！」。次男のジョセフ（9歳）は、道行く人へ張り切ってパンフレットを手渡しています。時に大人には苦勞しながらも、特に子どもたちにパンフレットを配ると、過ぎゆく子どもたちもにっこり笑って、受け取ってくれます。

一つの理由は、アメリカのローズパレード伝道を何度か行い、80%ぐらいの人々が好意的にもらってくれたり、励ましてくれたりしたのでそれがポジティブな体験となり、恐れない心が養われているのかなと思います。「今日、渡したトラクトが、その方が天国に行くか、地獄に行くか、かかっているのかもしれない事実」や、「今日、受け取らなくても、神様が次のステップに用いてくださるかもしれない」と日ごろの親子の会話で確認し、意義を理解し、使命感に燃えてるのかとも思います。これまで神様が不思議と伝道の祝福を与えてくださって、伝道中、子どもたちと仲良くなったり、警察やギャング系の暴走ライダーたちから伝道を励まされたりと、神様が普通にはない体験をさせてくださったことも勇気や自発的な伝道につながっているのだと思います。

午前中、「手渡しは、できないなー」と言っていた大使君は、夕方、上野公園の子どもたちに次々と手渡していました。「何のゲームやってるの？とか話しかけて、それから、『これ聖書のパンフレットだよ。読んで！』と渡すと、ほとんどもらってくれるんだよ」とうれしそうに話してくれました。チームで行う恵み、ポジティブな経験を既に持っている仲間と行うメリット、そして、何より、伝道で出て行った時にこそ与えられる、神様の恵みとあわれみと祝福のお陰なのかなと思いました。

キリストの福音を恥じない

子どもたちは、この日のことを忘れないだろうと思います。私も学生時代、当時のキャンパスクルセードの方針もあって、週1-2日、路傍伝道を行っていました。そこでのうれしい体験は、今でも忘れません。5人に1人ぐらいは、聖書の「4つの法則」を聞いてくれたし、そのうち3人に1人ぐらいは「イエス様を信じる祈り」を一緒にしてくれました。

でも教会に戻れば、クリスチャンの先輩方からは冷ややかな反応も多かったです。「ま、学生の信仰は信用ならないからね。社会に出たら通用しないから」という声もありました。私は祈って「大

胆にキリストの御旗をかかげて」「福音を恥じない」ことを心に刻み、出て行きました。結果はやはり、神様が、たくさんの伝道の機会を社内でも社外でも与えてくださいました。仕事も祝福され、NHKでありながら、伝道的な番組制作が許されました。原点は、学生時代に実際に出て行って宣べ伝えた時に与えられた、神様からの祝福に満ちた体験です。

そうした祝福された体験があれば、多少、ネガティブな体験があっても、それも神様が、益と変えて用いてくださるだろうと確信できます。この日の体験が、子どもたちにとって伝道への勇気と成功体験となることを確信します。「出て行って宣べ伝えよ」とおっしゃったイエス様を喜ばせ、日本・世界の皆さんに福音を届けるために、さらに大きく用いられてほしいと祈りました。

この日、路傍賛美もし、ずっと聞いておられる方もいて「イエス様を救い主と信じておられるのですか」「洗礼は受けてなく、クリスチャンではないですが、キリストを救い主だと信じました」「それはクリスチャンということですよ(^)！」そんな時与えられました。

肉体的には疲れましたが、心はとても幸せな一

日でした。チア・オフィスに戻った夜、ジョセフは「パンフレット、残ってるから、マンションに配ろう！」と張り切って言うので、一緒に配り切りました。それも、神様からのご褒美のような気がして、とても感謝でした。

伊勢崎の皆さんの東京伝道は毎月1回で、どなたでも自由参加。チアとしても来春、再び、伝道デーを企画できたらいいなと考えています（ちなみに、「学生の信仰は信用できない！」と冷やかに言って私を奮起させた教会の先輩は、その後、私を何度かセミナー講師に招いたりして、現在も仲良くしています(^)。)

三浦光世・綾子夫妻の聖書、家具の保存

上記の伝道デーの数日後、三浦綾子記念文学館から、三浦光世・綾子夫妻の聖書や書籍、家具が処分されることが決定され、ガレージセールが行われるとの連絡が届きました。「バイブルミュージアム」では、聖書の影響を受けた日本人の一人として、三浦光世・綾子コーナーを設けられたらと長く願っていました。それで、緊急会議を開き、取得、保存を目指すことを決定しました。それで



初秋の三浦綾子記念文学館

「氷点」の舞台・見本林



急きょ、旭川行きを決定しました。セールスの4日前です。

旭川のホテルの部屋に入ったら、疲れ切って、服を着たまま寝てしまい、午前2時30分に寒くて目が覚めるというパターンでした。でも、朝7時過ぎに会場に一番乗りできました。他に誰も並んでいなかったの、スーツケース等を文学館の玄関に置いて、隣接する「氷点」の舞台となった見本林を歩きました。4年間、毎月1回のペースで取材を続けて制作したNHKドキュメンタリー「光あるうちに—三浦綾子・その日々」において、綾子さんたちとの最後のロケ地でもありました。

**大きな太鼓は大きく鳴らせ！
神への信仰は大きく信ぜよ！**

今から27年前。ロケ予定日の5月3日は、一週間雨の予報の真ん中でした。雨だと、綾子さんの体調では無理なのでロケは中止になります。放送日を考えると、日程的に最後のチャンスだったので、かなり心配しました。この日のチャンスにかけて、札幌局にしかないカメラの移動用に数十メートルつなげるレールを、札幌からバスで運びました。普通、ドキュメンタリー番組では行わない、大がかりなロケ準備をして祈り備えたわけです。

幸い雨の予報は日ごとにずれてゆき、当日は、

北海道の新緑がまぶしい、暖かく、さわやかな最高の5月晴れ。綾子さんは光世さんと気持ちよく散歩し、白く可憐なモンシロチョウも現れ、ご夫妻のまわりを飛び交います。

綾子さんが「きれいねー。光世さん、見て。ちょうちょよ」「そうだね」「ちょうちょ、ちょうちょ、菜の葉にとまれ…」と歌い、二人で心から喜び、緑のいのちと光のきらめきの中で番組が始まっていくという、最高のシーンが撮れて、主を讃えました。

ロケ後、綾子さんに一週間雨の予報で、かなり心配した旨を伝えました。綾子さんは、「そう。大きな太鼓は大きく鳴らさないと、その力を発揮できない話しを津軽の大太鼓の叩き手から聞いたわ。信仰も同じね！ 大きく強く、信じないとね」と言われ、なるほどなと思いました。

27年後の朝、当時、レールを敷き、モンシロチョウが飛び交った見本林のロケ地を久しぶりに歩きながら、大きく強く信じる心をチャレンジされた思いになりました。

午前8時。文学館の玄関に戻ってくると、スタッフの皆さんが、聞いていた予定時間より30分早く来られ、私のスーツケース等も中に入れてくれました。お陰でお土産を渡し、スタッフの皆さんに、丁寧に再会の挨拶ができてよかったです。その時点で、綾子さんの書棚にあった本等、販売品がまだ並べきれなくて、スタッフの皆さんが必死にそろえておられました。それで約1時間30分、手伝うことができました。それもチームの一体感が増えて、感謝でした。

その後、ボランティアの皆さんが集まってきて、Hさんという方が「あ、綾子さんの部屋にあった



エゾリスが姿を見せてくれました

聖書がある。私ほしいわ」とのこと。その聖書は、毎日、三浦夫妻が使っていた聖書ではないけれど、書斎で執筆時に使われていた聖書で、価値も高く、私も購入予定でした。私が一番に並んだので買う権利はあるけれど、でもHさんは、まだ教会に行っていない感じでした。だからHさんにお譲りできればと思いました。

私は「神様に喜ばれ、綾子さんたちにも喜ばれ

るように、買えますように。ほかのお客さんとも礼節をもって交わり、欲張りにならず、無駄にならず、でも後でみんなに見てもらい、伝道に役立てるような購入ができますように」と祈りました。

いろんな聖書があり、Hさんは迷っていました。選択を手伝っていた難波事務局長は、「文語訳の記念聖書、これが一番、価値があるよ。8万円ぐらいだけど、今日は一律200円だし」と薦められ、

Hさんは「わ、これにする！革の表紙だし、金色のページだ」と決断されました。この文語訳聖書だけは、なんと2冊ありました。Hさんとは、一緒に作業もしていたので、既に仲良くなっていました。「良かったですね。2冊あるから、僕1冊、買っていいでしょうか」「もちろん！私、3番目だし。私、革表紙の方がほしいけど、いいでしょうか？」「いいですよ。僕は普通の表紙の文語訳でいいのです」ということになり、主を讃えました。

その後、春に新任された田中綾新館長さんにも挨拶することができました。さらに、私のことを知っているボランティアの皆さんたちが続々と訪れ、私に話しかけてくださるので、初めて会った田中館長との絆の上でもとても良かったです。

そして、9時30分。新館長さんがスピーチをするころには、お客さんの列は20人あまり。朝7時に来た私はトップ。そして、難波事務局長の説明の後に、その日、販売される家具5点の写真が壁に貼られました。「それではどうぞ自由に。ど



三浦光世・綾子夫妻が書棚に置いてくださった「チア・につぼん」の『世界史』、『旧約聖書のメッセージ』ほか



三浦夫妻宅家具、書籍バザーにて

れだけ買ってくださいでも大丈夫です」。私は、スッと歩きながら、まず家具5点の紙を全部もらい、一番ほしかった聖書のコーナーに行き、三浦家の聖書を確保できました。本並べを手伝っていたので、どこに何があるか、把握できていました。その時、Hさんが2冊、文語訳を押さえてくださり、「これ、稲葉さんの分です」とわざわざ持ってきてくれました。私は新改訳などで、既に両手がいっぱいになっていて、Hさんの助けは貴重な助けでした。

その後、綾子さんが使っていた聖書辞典や聖書の注解書、コンコルダンス、また、執筆時の広辞苑や、英語学習が好きだった光世さんの英和辞典や英語学習の本、綾子さんの病気関連の本、光世さんの短歌関連の本、綾子さんの好きだった松本清張関連の雑誌、取材関連の皇室関係の本、憲法、歴史関係の本等、段ボール10箱ほど集めました。するとHさん、再び現れ、「これ、稲葉さんのでしょう？」と銀行の封筒を持ってきてくれました。今回の購入費用と、入院中の父へのお見舞いのために下ろしたお金の入っている紙封筒でした。レジで本を預かってもらい、次の本を探しているうちに、お金の封筒も一緒に置いてきてしまったのでした。Hさんは、封筒を無くさないように、ずっと預かっていてくれ、大変、御世話になりました。

予算通りの金額ですべて購入できた後、文学館の松本理事と、難波事務局長と昼食ミーティング。松本理事は、元五十嵐広三官房長官の秘書を務められた方で、「多様な教育法案」が議論されている時期に、アドバイスを求め、「反対なら反対とはっきり言った方がいい」と助言してくれた方です。それで私は勇気と確認を得て、馳元文科大臣ほか、当初、意見の違う厳しい面談にも臆せず、直言できた経緯もありました。

松本理事にも感謝を込めて、チア・マガジンを渡すことができました。また、塩狩峠を読んで、洗礼を決心された石破議員のインタビュー記事も渡すことができ一層喜ばれ、難波事務局長にコピーして記録しておくように伝えられました。

文学館に戻り、開館当初からのスタッフの梶浦さんが運転して三浦宅に連れて行ってくれ、山路秘書とも会って、廃棄処分される予定だった家具等、いくつか購入できました。

マラソン棄権危機で教えられたこと

その後、アメリカに3週間ほど戻り、いくつか面談や博物館の視察ができました。久々にフルマラソンにも出場できました。先月号のニューズレターの仕上げに追われ、最後はフラフラでしたが、家族が協力してくれて、大会4日前に参加を決断し、ぶっつけ本番でした。今回は、16キロと25キロで脱水症状となり、途中棄権を決断し、道端に座り込みました。これまで10キロやハーフも含め、20回ぐらい出場したレース史上初めてのことで、救護スタッフを待とうと思っていたら、なぜかクリスチャンの方が「一緒に行こう！」と座り込んだ私に手を差し伸べ、文字通り引き上げ、助けてくれました。

その方は、26キロ地点でケガをして、走れず、一緒に歩いてほしいということで、歩いてゴールすることとなりました。途中、疲れた彼は、行く人行く人とロゲンカして、私が双方をなだめる役となり、まさに珍道中でした。その中で教えられたことが5つありますが、紙面の関係で、1つだけ分かち合います。

教訓の1つは、「結果が証明されていない助けは受けないこと！証明されているサポートは積極活用すること」。フラフラになった理由の1つは、多分、前日にガソリンスタンドで買った、変な栄養剤14錠セットを飲んでしまったためかと思います。日本と違い、アメリカのガソリンスタンドには、変なものも売っています。大会3日前、5キロ走を試走したのですが、7月に痛めたふくらはぎに、まだ違和感が残っていました。また、ニューズレターの執筆等でほぼ徹夜の日々が続き、ちょっと風邪気味にもなっていました。

ガソリンスタンドで見つけたのは、「これ飲めば爆発的なエネルギー！究極のビタミン剤&栄養剤セット」。200円ほどで高くありませんでした。さらに、普段は「ショット」と呼ばれるマラソン専用の栄養補給ジェルを持って走るのですが、今回、家に全部、忘れてきました。ふと見ると、そうしたジェルと同じようなパッケージで、「パワー100倍！ジンセンジェル」といった商品も目に入りました。全然、聞いたことがない商品だけど、「高

麗人参」ならいいだろうと思って買いました。

15キロまでは快調に走れました。10キロ過ぎで「ジンセンジェル」を飲み、15キロほどで「究極のビタミン&栄養剤」を12錠飲んで走っていました。さらに足が痛まないようにと、痛み止めの「アドビル」を2錠飲みました。それから間もなく、16キロを過ぎたところで、吐き気とめまいとでほとんど気絶しそうになり、急激に走れなくなりました。

反省としては、よく分からない商品を服用してしまったことです。効用がしっかり証明されたジェロや錠剤は、これまで確実に助けになっていました。でもパッケージが似ていて、宣伝文句は良くても、だめなものはだめです。そのことを気絶しかけながら、嘔み締めました。

逆に言えば、しっかり証明された応援&サポートグッズは、賢く用いるということです。

今回の白馬セミナー講師のグレッグ・ハリス氏は、ある意味、最も効果の証明された講師です。アメリカのホームスクーリング・ムーブメントを、約300万人のムーブメントに育てた一人です。それは全米各地でのセミナー講演で既に証明済なので、ここまで各地で用いられてきました。

アドバイスは誰からでもいいわけではありません。私のように気絶し、倒れかける結果もあり得ます。その意味で、実証済のグレッグ・ハリスの講演機会を用いてくださったと思います。

また、もう一人の講師、ジョイス・イノウエさんも、学習障害の分野における聖書的なアプローチという点で実証された一人です。さらに今回、新たにテモテ・ブローマンさんが、英語教育のセッションを持ってくれることともなりました。テモテさんは、世界約750校、約6万人に用いられている英語教材「GrapeSEED」を開発した責任者の一人です。また、ジャネット・マクタガートさんは草分け的なホームスクーラーで、チア・カリフォルニア理事も務めた方で、10年ぶりの登壇です。4人の子どもをホームスクーリングで育てあげた後、ご主人の希望で、25年の結婚生活に離婚という形で終止符を打つこととなります。その痛みの中で、大学に通い直し、教員資格を取りました。日本人の若者たちをよくホームステイさせていた縁もあり、日本のミッションを考えました。

チア経由で情報を求めたタイミングで宮城明泉学園啓明小での英語教師募集の情報が与えられました。以後13年勤めあげ、帰国する直前の講演です。神様がジャネットさんを通して多くを語ってくださると思います。このほか、お父さん同士で励まし合う必要を受けて春のコンベンション後にグループを立ち上げた志賀信泰さんや桐山壘さんらの分科会もあります。そして、ユース向けの特別セッションも準備されています(20ページ参照)。

ぜひ、実証されたコーチング情報を、今回の白馬セミナーで得てくださったと思います。

すねを骨折した松岡恵悟君、 救急車で白馬参加を願う！

10月7日、仙台のホームスクーラー、松岡恵悟君(17)がサッカーの事故で、すねを骨折し、全治3ヶ月との連絡を受け、お見舞いに行きました。3週間の入院期間中、「これは神様の御手の中にある。自分の願いと違っても、すべてを感謝す



↑退院3日後の松岡恵悟君とご両親たち

すねの骨折状況→



ることをまず教えられました」とのことです。お見舞いに来られたノンクリスチャンの方にも、その気持ちを話したら、「これはご両親の教育のせいかな？なぜ、そのように考えられるの？」と質問され、それをきっかけに証しの機会も与えられたそうです。

「すねが完全に折れて、痛いなんてもんじゃなかっただろう。よく気絶しなかったね？」「はい。意識はあったのですが、その瞬間は、なんか、映画とかでまわりがスローモーションで動いていくような、そんな感じでした。いろいろと考えがめぐり、その一つは、白馬に行けなくなるのかなー、行きたいなーという思いも浮かびました」「え？そんな時に白馬のことを考えてくれたの？」「そうです。芝生の上でもだえ苦しみながら、足は皮と筋肉などがつながっているだけだったので、プランプランぶら下がってる感じでしたけど、白馬に行きたいなと思いました」

幸い、回復は順調で、白馬には家族全員で来られそうとのこと。本当に感謝です。回復して、スポーツができるようになるのは、来年夏ぐらいということです。順調な回復をお祈りください。

収穫多き1年に感謝しつつ、白馬へ

今年もたくさんの企画に皆さんがご参加くださり、神様からの大いなる祝福も与えていただきました。国会・法案施行も、「バイブルミュージアム関連」のニュージーランド輸入も、すべて感謝と喜びで終えることができました。今年最後の企画となる白馬セミナーに、参加できる皆さんは大歓迎です。ぜひお出かけください。来られない皆さんは特別な祝福の祈りをお願いできればと思います。子どもたちの魂の行方と、伝道・世界宣教のかかったこの歩みを強める白馬セミナーのため、ぜひお祈りください。皆さんへのますますの祝福を心から祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫



チア・伊勢崎伝道デー 「全世界に出て行き、福音を宣べ伝えなさい（マルコ 16:13）」

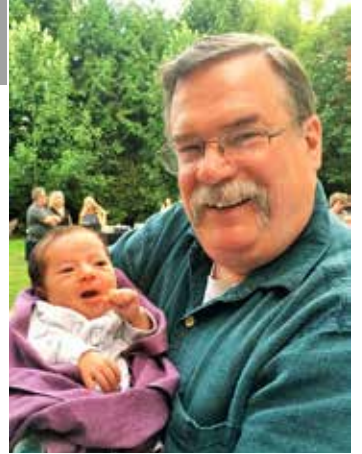
チャーチ&ホームスクーリング ★励ましとチャレンジセミナー in 白馬 2017★ Hakuba Seminar

| 11月23日(木) | 11月24日(金) | 11月25日(土) |
|---|--|---|
| 起床 朝食 (6:30-8:30) | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">12:00-14:20 受付</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">14:30-14:50 賛美&Opening</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">15:00-16:00 【基調講演1】 グレッグ・ハリス Gregg Harris</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">16:15-16:45 【基調講演2】 テモテ・ブローマン Timothy Broman</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">17:30-19:10 夕食</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">19:20-19:50 賛美&読書感想文表彰式</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">20:05-20:55 【分科会1】 1-1 グレッグ 1-4 志賀 1-2 ジョイス 1-5 川嶋 1-3 マタイ・ブローマン 1-6 棚田</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">21:15-21:35 各社2分間PR 21:45-22:45 OB/OG&Youth向けセミナー (志賀、森山)</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">9:15- 賛美&Information</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">9:30-10:30 【基調講演3】 グレッグ・ハリス Gregg Harris</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">10:45-11:35 【分科会2】 2-1 グレッグ 2-5 山川(哲) 2-2 ジョイス 2-6 清野 2-3 リチャード 2-7 鍵谷 2-4 稲葉</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">12:00-13:30 昼食 *オプション13:30口ビー集合 (自由時間&おふろタイム)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">OB/OG& Youth特別 セッション 14:00-15:00 グレッグ・ハリス 15:10-15:25 テモテ・ブローマン</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">13:45-15:15 ワークショップ 「子どもを祝福するとは」 ジョイス&リチャード・イノウエ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">夕食 16:45-18:10</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">18:10-18:40 カーレース大会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">18:40-19:20 讃美&賛美コンテスト 表彰式</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">19:30-20:20 【基調講演4】 稲葉 寛夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">20:35-21:25 【分科会3】 3-1 グレッグ 3-5 森山 3-2 ジョイス 3-6 伊藤 3-3 ジャネット 3-7 中村 3-4 ピーター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">21:45-22:40 OB/OG&Youth向けセミナー (衣笠 他)</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">8:50- 賛美&Information</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">9:20-10:10 【分科会4】 4-1 グレッグ 4-4 ギンター 4-2 ジョイス 4-5 CSS 4-3 テモテ・ブローマン 4-6 山川(高) 4-7 衣笠</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">10:25-11:15 【分科会5】 5-1 グレッグ 5-5 堀井 5-2 ジョイス 5-6 桐山 5-3 ジャネット 5-7 南雲 5-4 田村</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">11:40-12:50 チルミニ賛美 & 閉会礼拝</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">13:00 昼食を配り解散</div> |

白馬セミナー来日記念特別寄稿 Part2

親としての責任に 立ち返る

.....
グレッグ・ハリス



多くの人々が教育の問題を真剣に取り上げるようになってから、かなり時が経ちました。私たちは公教育にきちんと税金を投じ続け、公立学校がうまく機能していると考えていたのです。しかしそれは良かったことまでも、あっという間に変えてしまいました。

先進国における教育システムが完全に崩壊してしまったというわけではありません。事実、ある程度の成功は収めてきました。しかし、成功と言っても、その多くは間違いだらけの分野における成功だったのです。つまり、読み書きのできない大勢の大人たちを抱えた国家を作り出すことに成功し、若者の道徳的基盤を壊すことに成功したのです。そして、親たちの権威を巧妙に失わせることに成功しました。自由市場システムへの多くの信頼が失われ、アメリカは、1987年に発表されたレーガン大統領の教育に関する報告書にあるように、「危機に立つ国家」になってしまったのです。

明らかに、このような教育システムの「成功」は、アメリカの公立学校が始まって以来、教育者たちが描き、私たちに約束してきた成功とはまったく反対の結果を示しています。19世紀中頃、ホレス・マンは、公教育は人類最大の発見であり、地域の学校は最終的に「黄金時代」を導く場所になるであろうと語りました。20世紀初頭、ジョン・デューイは、アメリカの教育が偉大な「社会主義者のユートピア」を作るために用いられるだろうと主張し

ました。ところが、論より証拠です。ジョニーは読めず、スージーは単語のスペルが分かりません。ウィリーは書けず、アーサーは足し算ができません。この4人の若者全員が、乱交、反抗、薬物乱用、不安定、暴力という恐ろしい蜘蛛の巣にかかってしまったのです。最も公立学校に頼らなければならないこれらの側面が、ますます悪くなる一方です。

日本では、「幼少期」という「近代の」概念は、西洋との関わりの一つとして1850年以降に現れたものです（ウィキペディアより）。当時、アメリカおよび他の国々に浸透していった国家主義、および軍国主義的な目標を持つプロイセン公教育を取り入れたのです。明治時代の指導者たちは、子どもを含む個々人を、国家に仕えるために動員することが、国民国家の最重要課題であると判断しました。

このプロイセン公教育をモデルにした西洋式教育が、その目標達成に不可欠なものとして導入されたわけです。そして1890年までに、日本には、国家の掲げるこの教育プロジェクトを心から歓迎し支援する政治家、官僚、軍人、学者、教師、ジャーナリスト、良く教育された親たちの数が増大します。彼らは上流中級階級に、幼少期のあるべき姿と、子どもの義務は宿題に膨大な時間を割くことであると教えました。このような考えは、愛国心と共に、あらゆる社会階級に急速に広まり、この

愛国心が、来たる日露戦争、その後起こる致命的な結果をもたらしたアメリカとの戦争に必要とされる兵士たちを供給することにつながります。

第二次世界大戦がもたらした荒廃に次いで、連合軍の占領政府は、当時の日本にあった軍国主義的教えを根絶し、日本を「民主化する」ことを目的として、最重要課題の一つとしての教育再建を打ち出しました。しかしながら、アメリカの教育システムをモデルにして再建された新しい教育システムは、プロイセン公教育の方策と同じように、国家に益となる人材を生み出すというもので、その根底にある親たちへの裏切りには何ら変わりもありませんでした。

戦後に実施された学校改革は、入試の負担を軽くし、生涯学習をサポートすることを目指していましたが、公教育システム、一律化された学習要項の圧力によって、好奇心は殺され、国家の関心ごととに適合する者が育てられてきました。それゆえ、文部科学省が日本における教育行政の責任を担い続ける限り、子どもたちの教育は、本当の意味で、個々の子どもたちやその子どもの家族の利益のためにはなりません。それよりも、国家の利益のため、また、国家の制度を支える日本政府、法人、経済産業などの利益のためになるのです。

もし子どもたちが、詩篇 127 篇 3 節の中で「主の賜物」だと主張されているように、主と主の栄光のために訓練し育てるようと親に託されている存在であるなら、一時的な恩恵にあずかるとしても、日本国家の公教育は拒否されなければなりません。もし子どもたちが数学や科学の実力テストで高得点をとったとして、そうすることで、無神論やティーンエイジャーの疎外感を生み、職場での自殺などによって子どもたちの魂が奪われるなら、私たちにとって何の得となるのでしょうか。公教育に携わる教育者たちは、過去 150 年の間、

自分たちのすばらしさを証明するチャンスを持っていました。しかし、最も大切なテストに失敗したのです。彼らの「成功」は、子どもたちの将来を殺しているのです。

これらの破壊的な「成功」に応じて、世界中の何百万という親たちは、実践的な他の選択肢を見出しました。自分の子どもたちを、もう学校に行かせないことにしたのです。と言っても、ただ学校に行かなくなっただけで、家庭において、その両親たちによって教育を受け続けています。

このようなことは、まったく他人事に思える人もいるかもしれません。家で教育する？あなた自身がホームスクーラーとして育っていなかったなら、そういう人たちに対していろいろな疑問を投げかけることでしょう。子どもたちは本当に学習しているのか？両親たちには本当に教える資格があるのか？そういう人たちって、一部の宗教的熱狂者ではないのか？なぜ、ホームスクーラーたちの地位が急激に上がったのか？親たちはどうしてそんなに多くの時間を自分の子どもたちと過ごしたがるのか？そもそも法律的にはどうなのか？社会性はどうなのか？子どもたちが変わり者として、あるいはもっと悪く成長するのではないのか？

あなたの近所でホームスクーリングをしている家庭があるなら、たぶんあなたはその家庭の中でどんなことが起こっているかいろいろ考えることでしょう。直接彼らに聞いてみたらどうですか？きっと、うれしい驚きを味わうことでしょう。また、どうぞ、来る白馬セミナーに参加してみてください。

これまで私はホームスクーリングに関して考えられる限りの反対意見を聞いてきました。そして、反対意見の一つ一つに対して、素晴らしい回答が用意できています。今回の白馬セミナーにおいて、用意された回答のうちいくつかを、実践的で分かりやすい方法でお伝えしようと思っています。

大切なポイントは、ほとんどのホームスクー

ラーの親たちは、教育の原点、ホームスクーリングに立ち返ったクリスチャンであって、自分たちの子どもを自分たちで教育するという神から与えられた責任に、真剣に取り組んでいるということです。

私が注意深く選んだ二つの言葉、「立ち返る」と「責任」に注目してください。

親たちは、ホームスクーリングに「立ち返って」いるのです。ホームスクーリングを実践することは、何も新しいことではありません。アメリカの文化でもそうですし、日本などの世界中の国々においても新しいことではないのです。これは子どもたちを教育する方法として、最も古く、昔ながらのやり方であり、一方、公教育こそ新しい考え方なのです。アメリカでは180年前の1837年に、税金を投入した新しい試みとして始まった公教育は、全くもって前例のないものであり、今もその効果が証明されないままです。初期の頃になされた教育学者たちの警告は、すべて現実のものとなりました。税制の改革が継続的になされ、税収が拡大していなければ、公教育の流れはとうの昔に終わっていたことでしょう。

ホームスクーリングは、単に、先進国を成長させてきた教育システムに立ち返ったにすぎません。それは家庭にあって親が教育を行うというシステムに立ち返るものです。この方法によって、アメリカ合衆国は、ジョージ・ワシントン、アブラハム・リンカーン、ロバート・E・リー、オリバー・ウェンデル・ホルムズ、セオドア・ルーズベルト、ブッカー・T・ワシントン、ハリー・トルーマンらを輩出してきたのです。

しかし、現代のホームスクーリングが単に昔を懐かしがっているのではないことを理解してください。伝統を重んじるために、単に過去の伝統に立ち返ろうとしているわけでもありません。ホームスクール・ムーブメントは、古い方法ながら、質の高い教育を施すために、最新のテクノロジー

を駆使しているのです。ほとんどのホームスクーリングをする親たちは、子どもの教育を監督するという神から与えられた責任に、真剣に取り組んでいます。短い期間ですが、子どもたちを教育するという厳かな努めが自分たち親に任せられたということを知っています。そして、親たちは最大限の努力を払わなければなりません。子どもたちを「主の教育と訓戒によって」（エペソ人への手紙6:4）育てなければならないのです。実際のところ、単に子どもたちの教育を監督する権利をもっているというだけでなく、義務を負っているということです。

たぶん、あなたはこれらのことすべてをすでにご存じでしょう。また、自分の子どもをホームスクーリングすることを既に決めておられるかもしれません。今回のセミナーは、あなたが、さらに、聖書が教える方向で進む上での励みとなり、どのように始め、どのように深めていくか、高嶺を目指していくかを教えてくれ、踏み出した時点であなたに正しい方向を示してくれるでしょう。そして、多くの疑問に回答を与えてくれることでしょう。

一方、自分の子どもをホームスクーリングするつもりはまだないけれども、ホームスクーリングをしている人たちに対しては関心を持っている人もおられると思います。あなたは、ホームスクーリングを行っているクリスチャン家族がどのような家族であるかをもっと知りたいと思っている牧師、弁護士、公立学校の管理職、教師、あるいは祖父母かもしれません。そのような皆さん方も、ぜひセミナーに参加してください。今日世界中で、最もエキサイティングで急成長しているクリスチャンの教育ムーブメントがホームスクーリングである理由を発見してください。そして、それにより良いものにしていくために力を貸してください。

リアルなニーズに応えるセミナー OB/OG&YOUTH セッション！



★高嶺を目指して

「インテグリティ・誠実さと強固な倫理観を養うために」 グレッグ・ハリス

あなたの本質の集積回路 (IC) を発見しよう。そして、目的、ゴール、プラン、行動を通して、あなたの心、たましい、思い、力のつながりをどのように強化していくかを学ぼう。1) 時間の本質 2) 良い習慣の力 3) 優先順位の問題 4) 一日に焦点を当てて一週間のバランスをとること 5) 適切な時 vs 均等な時間配分 6) 自己の整合性：目的、ゴール、プラン、行動 7) 書き留めよ！

「神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。」伝道者 12:13
テモテ・ブローマン

若い時から主に従うことを選ぶ重要性について、みことばを引用しながらポイントを押さえるように努めます。

★ホームスクーリングペアレンツによる 「社会にキリストのインパクトを与える秘訣」

「天文学を通して神様を求める」 衣笠 健三

科学と聖書は矛盾していると思いませんか？科学、特に、天文学は本来神様が人間に与えてくださった学問です。ここでは天文学の簡単な歴史から最新の話まで、聖書の視点からお話します。

「土を耕す（召命とのろい）」 志賀 信泰

創世記 2 章を見ると、アダムは主からエデンの園の管理を任せられ、土を耕すことも仕事の一つとして与えられます。しかし 3 章ではエデンの園を追放され、苦しんで食を得るためにのろわれた土を耕すようになりました。僕は今国立研究開発法人 (NICT) で「時」の研究をしていますが、召命としての仕事と、のろいとしての仕事は常に紙一重のところにあると感じています。召命としての仕事を続けるために祈りながらプロアクティブに、創造性を発揮しようとしてもがいている現実をお分かちできれば、と思います。

「弟子訓練プランシート」～将来のビジョンに向かって～ 森山 剛

何のために、何を目的に、ホームスクールをしているかを確認していくことはとても大切なことです。「弟子訓練シート」が、ユースたちがビジョンをしっかりと掴むことへの助けになればと思います。

白馬セミナー 2017

基調講演・分科会 抄録 (分科会順・敬称略)

【基調講演 1】

- 「なぜ、困難なことに
立ち向かう子どもたちを育てるのか？」
Why Raise Kids To Do Hard Things?
グレッグ・ハリス

私たちが、困難なことに立ち向かうように子どもたちを育てるべき多くの理由を検証していきます。

In this first Keynote address we will explore the many reasons why we should raise our children to do hard things.

【基調講演 2】

- 「キリストの弟子としての子どもの教育」
—みことばに照らしてともに考えましょう
テモテ・ブローマン

「見よ、こどもたちは神から賜った嗣業であり、胎の実は報いの賜物である。」詩編 127:3

「子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。」箴言 22:6

「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として... あなたがたに命じておいたいっさいの事を守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。」マタイ 28:19-20

【基調講演 3】

- 「良い木 Vs 悪い木」
The Good Tree Vs The Bad Tree
グレッグ・ハリス

福音の中に人生を変える信仰がない、本物とは言えない単なる名ばかりのクリスチャンでいる危険性について考えます。

In this Keynote we will examine the dangers of being merely a nominal believer in Christ who has no authentic, life-changing faith in the gospel.

【基調講演 4】

- 「新・出エジプト大作戦—キリストにある自由&未来からのスタート」

稲葉 寛夫

クリスチャンの教育の自由を求め、第二のメイフラワー号とも称される「ホームスクーリングムーブメント」。日本でも18年の歳月を経て、今、大きな実を結びつつあります。国会での多様な教育をめぐる法制化の条文作成にも、神様はクリスチャンホームスクーラーを用いられました。子どもたち・親たちによる社会への福音のインパクトも、徐々に与え始めています。近未来において、日本や世界のリバイバルは起こり、そのために用いられていくことは確実と思われます。しかし、伝道的な実が生まれるということは、外からと内からの攻撃が、当然、生じます。輝く未来、そして忍び寄る愛の冷えた迫害の時代、その中でキリストにある教育と伝道の自由を勝ち取り続け、キリストの恵みと憐みの中ではばたくため、今、各家庭においてなすべきことは何でしょうか。今、神様に示されていることを分かち合います。

【ワークショップ】

- 「子どもを祝福するとは」
ChildD Blessing Opportunities for CHEA Parents

ジョイス&リチャード・イノウエ

夫妻の実演からも学びます。90分のセッション中、10分ずつ6セッション、祝福の祈りの時間を持ちます。そこで、祝福の祈りを受けたい方々を募集します。祝福の祈りは聖書的であり、他の方々を励ますものです。夫婦でご参加の方は、ぜひご夫妻で祝福を受けるようお勧めします。申込書は、チアの事務局そばにおきます。これは初めての試みです。参加される方は、祝福の祈りをどうぞ録音してください。アメリカではよく祝福の祈りを録音します。祈りがその時だけでなく、後で聞いて励ましとなるためです。祝福の祈りはイエスキリストにある希望を思い起こさせます。夫妻が分科会の最後に、祝福の祈りの祈り方などをお伝えします。

The ChildD Team will take sign-ups to bless

those in six slots for a ten-minute time for one hour and a half. Please know that Blessings are Biblical and an encouragement to one another. Due to limited availability, we are asking for fathers and mothers to sign up to be blessed together. The sign-up sheet will be near the register in the bookstore. It will be first come, first served. For those who sign up, we welcome you to digitally record your blessings by recorder or using the voice memo on their iphones. We often record our blessings in America, as blessings can encourage you, not only at the time, but whenever you listen to it. Blessings remind us of the hope we always have in Jesus Christ, and who He is to us, and who we are to Him. Joyce and Richard Inouye will also be providing examples of the blessing at the end of their workshop.

【OB/OG&YOUTH セッション】

■高嶺を目指して「インテグリティ・誠実さと強固な倫理観を養うために」

Personal INTEGRITY In Making the Most of Your Time

グレッグ・ハリス

あなたの本質の集積回路 (IC) を発見しよう。そして、目的、ゴール、プラン、行動を通して、あなたの心、たましい、思い、力のつながりをどのように強化していくかを学ぼう。

1) 時間の本質 2) 良い習慣の力 3) 優先順位の問題 4) 一日に焦点を当てて一週間のバランスをとること 5) 適切な時 vs 均等な時間配分 6) 自己の整合性: 目的、ゴール、プラン、行動 7) 書き留めよ!

Discover the integrated circuitry of your nature and how you can strengthen the connections between your heart, soul, mind and strength through purpose, goals, plans and actions.

1.The nature of Time 2.The Power of a Good Routine 3.The Problem With Priorities 4.Balance the Week by Focusing the Days 5.Appropriate Time vs Equal Time 6. Personal Integrity: Purpose, Goals, Plans & Actions 7.Write It Down!

■「神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。」伝道者 12:13

テモテ・ブローマン

若い時から主に従うことを選ぶ重要性について、みことばを引用しながらポイントを押さえるように努めます。

■「天文学を通して神様を求める」

衣笠 健三

科学と聖書は矛盾していると思いませんか? 科学、特に、天文学は本来神様が人間に与えてくださった学問です。ここでは天文学の簡単な歴史から最新の話題まで、聖書の視点からお話します。

■「土を耕す (召命とのろい)」

志賀 信泰

創世記 2 章を見ると、アダムは主からエデンの園の管理を任せられ、土を耕すことも仕事の一つとして与えられます。しかし 3 章ではエデンの園を追放され、苦しんで食を得るためにのろわれた土を耕すようになりました。

僕は今、国立研究開発法人 (NICT) で「時」の研究をしていますが、召命としての仕事と、のろいとしての仕事は、常に紙一重のところにあると感じています。召命としての仕事を続けるために祈りながらプロアクティブに、創造性を発揮しようとしてもがいている現実をお分かちできれば、と思います。

■「弟子訓練プランシート」

～将来のビジョンに向かって～

森山 剛

何のために、何を目的に、ホームスクールをしているかを確認していくことはとても大切なことです。「弟子訓練シート」が、子どもたちがビジョンをしっかりと掴むことへの助けになればと思います。* 可能であれば親御さんの同席が望ましいです。

【分科会 1】

1-1 ■「あなたが子どもたちを
楽しむようになるまで訓練する」

Train Them Until You Like Them

グレッグ・ハリス

自分の子どもたちを（愛するだけでなく）楽しむこと、また、毎日の生活の中で一緒にいて楽しい人になるように訓練することの重要性について見ていきたいと思います。

In this session we will look at the importance of liking our children (in addition to loving them) and training our children to be someone we enjoy have with us in our daily lives.

**1-2 ■ 「時間やエネルギーが無い時でも、
子どもたちを祝福し続けるために」**

How to begin or keep the momentum of blessing your children when there is no time and energies

ジョイス・イノウエ

この分科会では、子どもの障害の有無にかかわらず、どのように子どもを祝福したらいいのかお話しします。ジョイス女史とリチャード氏は神に尋ね求めながら、時間やスケジュールをやり繰りし、混乱や疲れを克服して、3人の子どもたちを誕生以来（長男ギャレットさんは2歳から）18歳になるまで毎日祝福してきました。2014年のチア・コンベンションでは、長女のクリスティンさんが、毎晩どのように両親から祝福を受けてきたかを証しました。現在、長男ギャレットさん&シャノンさん夫妻は、生まれたばかりの娘、ワンダー・レイちゃんに祝福の祈りを始めています。戦場のような毎日の中で、どうしたら祈る気力を保ち続けることができるのでしょうか。ぜひこの分科会で、神が不可能を可能にしてくださった証をお聞きください。

This workshop will give testimony on how to begin blessing your children with or without special needs. Hear how Joyce and Richard with God, overcame the trials of time, schedules, upset, and weariness at the end of the day. They will share how they sought the Holy Spirit so that all three children were blessed all the days of their life from birth to the age of 18 years (Garrett started from 2 years). Joyce's daughter, Christin spoke at CHEA in 2014 how she and her brothers will bless their children nightly as well, and Garrett and Shannon have begun the discipline of blessing their newborn daughter Wonder Rei, since birth! How can anyone keep the momentum amongst the warfare? Come and see how God led, and the

impossible became very possible.

1-3 ■ 「親と子どもの心の絆」
マタイ・ブローマン

普段の生活で、仕事のために家族と過ごす時間が少ない中、私自身が感じていることを踏まえ、子どもとの絆をどうやって築いていくかについて話を進めたいと思います。

1-4 ■ 「お父さん集まれ！（全国版）」
志賀 信泰

今年のコンベンション東京で初めてお父さんのネットワーキングを目的とした分科会をもつことができました。その後お父さん同士の情報交換や平日のミーティングへと発展してきています。今年の白馬では全国のお父さん方と交わりの時を持ち、ホームスクーリングパパ特有の悩みを中心に分かち合う時を持ちます。お互いの悩みに対して解決策を示しあうのではなく、まず共感する時を大事にします。この時を通して、今後深い話ができるお父さん同士のネットワークが全国的に育つことを願っています。

1-5 ■ 「私の思いは、あなたがたの思いと異なり」
～ホームスクール 11年目～
川嶋 康裕&しのぶ

読み書きを楽しんで覚えていく子どもの成長を見たい！将来、家族で病院船に乗って海外宣教に遣わされた時のために！と始めたホームスクールですが、私たちの思いとは異なり、紆余曲折を経て11年目を迎えています。途中3回の引越し、夫の単身短期医療宣教、妻である私の乳がん闘病と治療、次女のアフリカお供の旅、長男の進路、すべて神さまの哀れみによって歩んできました。子どもたちもそれぞれの段階で神さまから取り扱われ成長してきました。でも、一番成長させられたのは親の私たちかも。多くの恵みを分かち合い、証できたらと思います。

1-6 ■ 「誘惑から解放されるために
～父が息子と共に学べること～」
棚田 伊作&加代子

二人の子どもをホームスクーリングをして9年目、小学2年生から学び始めた長男は16歳になりました。私たちが10代の頃を思い返せば、性的な誘惑に非常に関心を持ち、神様の前で罪を犯し続ける弱い者でした。そんな私たちの息子にも、サタンはインターネットやスマホを使って巧みに

攻撃を仕掛けています。弱い男の代表である父親が、息子のためにどう備えたら良いでしょうか。誘惑に対してどのようにして向き合えばよいのか、我が家の体験談をシェアしつつ、実践していることを紹介したいと思います。

【分科会 2】

2-1 ■ 「子どもたちを巻き込む価値のある冒険に満ちた人生を送る」

Live An Adventure Worth Including Them In
グレッグ・ハリス

困難なことに立ち向かっている良い模範となることの重要性を考えます。

In this session we will examine the importance of being a good example of doing hard things.

2-2 ■ 「学習障害や ADHD、自閉症に関連する感覚処理障害、前庭疾患、固有感覚障害、運動障害とは？」

How are Sensory Process Disorders, Vestibular, Proprioception and Motor Disorders related to Learning Disabilities, ADHD and Autism

ジョイス・イノウエ

ADHD、前庭疾患、固有感覚障害、自閉症、学習障害（ディスレクシア、計算力障害、微細運動技能）に関する 2017 年 8 月の最新研究についてお伝えしながら、これらの知識がホームスクーリングの学習面にどのような影響を与えるか、お話しします。

Be informed on the latest research as of August 2017 in areas of ADHD, Vestibular, Proprioception, Sensory Process Disorders, Autism, and Learning Disabilities (Dyslexia, Dyscalculia, fine motor skills) and how this knowledge will affect your homeschooling lessons.

2-3 ■ 「どんな職場でも神の国の視点を保ち続けるために」

Keeping God's Kingdom Perspective at your christian or non-christian work place

リチャード・イノウエ

この分科会では、どうすれば、職場において神

の国の視点を保ち続けられるのか、その方法についてお話しします。神の国の視点で物事を見るなら、職場で困難に直面した時にも精神的に支えられ、神に目を向け続けることができます。神さまは目的をもって、皆さんを今の職場に置かれました。確かに仕事で厳しい状況に陥った時は、神の存在を意識し、神に栄光を帰すことが難しい場合もありますが、神さまにはご計画があるのです。神さまは、皆さんが神の愛と理解力をもって職場に影響力をもたらし、最終的にご自身の栄光をあらわすことを望んでおられます。これこそ、私たちの信仰を仕事と結びつける方法なのです。

2-4 ■ 「チャーチ&ホームスクーリング

ー必ず聞かれる 20 の質問」
稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週 2 時間からできる C & H って？」。この 17 年の全国各地でのセミナーで多かった Q & A をベースに 8 時間コースを 50 分に短縮した、一度は必修のコース！

2-5 ■ 「山川哲平ファミリーのチャーチ&ホームスクール」(12 年目) ~初代教会から学ぶホームスクール~

山川 哲平&真紀子

ハレルヤ！現在、ハレルヤチャーチ高松では、5 家族合計 33 人（11 + 7 + 6 + 6 + 3）がチャーチ&ホームスクール中。また、それ以外にも、ご主人が未信者の家族もホームスクールマインドで教育をしています。現在、親と一緒に来ている子どもたちの信仰継承率は 100% です。また、名古屋の弟ファミリー（9 人家族）、妹ファミリー（7 人家族）もホームスクール中。義理の妹家族（8 人家族）も含めると一族でホームスクーラーです。12 年前にチアにつぼんに出会ってから、あっという間に時間が過ぎました。まだまだ試行錯誤しながらですが、教会もホームスクールも「祈り、御言葉、礼拝」が中心になってきました。様々なホームスクールの形があつて良いと思いますが、私たち家族の証しや、どのようにホームスクールをしているか、特に今年は「初代教会（ユダヤ人文化）から学ぶ家庭学習」を紹介し、御言葉の朗読、御言葉の暗唱、家庭礼拝、日に 3 度の祈りの時間

などです。シャローム！★ニュースとしては、来年4月には10人目が誕生予定。とうとう12人家族へ。

2-6 ■ 「良い関係」

清野 基&百合子

・子どもを愛しづらい。・受け入れがたい子どもの言動と行動がある。・従順を教えているつもりが、支配していた。・子どもが親の顔色を窺っている。・どうしても怒りを抑えられない。・子どもに信頼されていない気がする。・子どもの言葉に傷ついてしまう。などなど…。ホームスクールなのにこれでは…ではなく、ホームスクールだからこそ、罪と弱さが取り扱われるチャンスが多いと、前向きにとらえて、良い家族関係を築くために必要な事を共に学びましょう。

2-7 ■ 「十字架を目指して、低きに登る」

鍵谷 陽子

昨夏、長男（当時17歳）が法の学びへと導かれ、今春、大学に入学。それまで続けてきたホームスクールでは、聖書と、それを伝える力があればいいと、一般的な教科の学びは、ほとんど無し。思いがけない展開に、本当にそれでいいのか？と、祈り続けました。突然の猛勉強に、弱さのある長女（当時5歳）の体力作りにと、鬼コーチと化す母。そんな中、重い愛着障害を抱えた里子くん（当時2歳）を迎え、一家は、土台から揺さぶられ、世話好きの長女も、特性の注意欠陥が噴出。「自分を捨て、自分の十字架を負ってついてきなさい。」の御言葉が響きます。試練が思いもよらなかったのは、盲目だったから。神様との隔たりの大きさは、恵みの大きさでもありました。長男も証します。

【分科会3】

3-1 ■ 「子どもたちの退屈を

楽しいことに活用する」

Harness Their Boredom With Delight
グレッグ・ハリス

よくある退屈や孤独を用いて、子どもたちに困難なことに立ち向かわせる戦略を作り上げていきます。

In this session we will develop a strategy for using normal boredom and loneliness to motivate our children to do hard things.

3-2 ■ 「障害のある子どもたちと信仰的な会話、弟子訓練はできるか」

Are spiritual conversations and discipleships possible with our children with special needs?
ジョイス・イノウエ

親も子も様々なチャレンジに直面しますが、神の国の視点から見ることによって、そのすべてに答えを見つけることができます。神は「若者をその行く道にふさわしく教育せよ…」(箴言22:6)とおっしゃいました。この分科会では、「障害のある子どもとは信仰的な会話や弟子訓練ができない」という不信仰な考え方を払しょくしていきます。学習障害を抱え、じっと座ってられず、集中力が途切れやすい、あるいは興味が無いように見える子どもたちに、ホームスクーリングをする中でどのように神について語っていくのかお話しします。

God's Kingdom perspectives are every answer to every challenge to both parents and their children, and vice-a-versa. God says, "Train your children up in the way they should go..." (Proverbs 22:6). Come to this workshop to dispel ungodly belief that spiritual conversations and discipleship is impossible. Joyce will be talking about how to speak about God in and through the gift of homeschooling and time with your children who cannot sit still, are distracted and have learning challenges or who do not seem interested.

3-3 ■ 「自分の目標を捨て、願いを神にゆだねる」

Letting Go of My Goals and

Giving My Will to God

ジャネット・マクタガート

幼稚園から高校卒業まで4人の子どもをホームスクールで育てた母が語ります。私たちが日々自分の十字架を負って神に従う時、素晴らしく思えるような自分のアイデアを捨て、神による平安と喜びを体験する道を発見するでしょう。(今では11人の孫がいます！)

(事務局注：1970年代後半というホームスクーリングムーブメントの草分け時代に立ち上がったホームスクーラー、チア・カリフォルニア理事、その後の家庭の苦難等を経て、神様から教えられた学びが分かち合われる予定です)

In this workshop we will hear from a

mother who home-schooled four children from Kindergarten through High-school graduation. She will explore ways that we can let go of our own ideas of excellence so that we may experience God's peace and joy as we pick up our cross daily and follow Him. (She now has eleven grandchildren too!)

3-4 ■ 「神を愛するということ」

On "Loving God"

ピーター・ブロックソム

クリスチャン家庭で、子どもたちは「神は愛である」ことを聞きながら育ちます。しかし、私たちは親として、子どもたちに「神を愛する」ことを教えることが、どれほどできているのでしょうか。クリスチャン教育において神への恐れや服従がしばしば強調される中、私たちが育てているのは、従順なパリサイ人なのか、真に十字架を愛するものか、どのように判断することができるのでしょうか。ホームスクール、またキリスト教学校で育った息子からの一本の電話が、私たちが子どもたちに教えていること、またそれが世代間でどのように伝わっていくのかについての新しい知見をもたらしてくれました。当分科会が、確かに存在する問題への解決策を提示するには至らないまでも、その原因を突き止め、私たちが子どもたちにとっての、「神を愛する人」の手本となる一助になることを願っています。

As Christian parents, we teach our children that "God is love." However, how often do we teach and help them to "love God"? When challenged by the legalism of fear and obedience, which is a common pitfall in Christian child-rearing, how can we decipher whether we are raising well-behaved Pharisees or lovers of the Cross?

A phone call from my home- and church-schooled son provided me with a new perspective on what we teach to our children and how it is communicated through the generations. The goal of the lecture is not to reach solutions but to identify the root of existing problems, so that we can grow to model lovers of God for our children.

3-5 ■ 「えっ！いつまでやったらいいの？

ホームスクーリング！」

森山 剛&有佳子

そう言えば…ホームスクーリングのゴールっ

て？いつまでやったらいいの？ 高校卒業認定合格まで？大学に入ったから終わりなの？そのようなことを考えたことはないでしょうか。既に始めておられる方、これから始めようかとお考えの方々、神様に与えられたお子さんを主の教育で育てていく上で、目標やゴールをセットしていくことはとても重要だと思います。長女が18歳になり、今後の進路を決定していく段階になったこと。同世代の知り合いのホームスクールのお子さんが既に大学に行かれたり、また、これから大学や専門学校に入られることを耳にしていく中で、長男13歳と次女8歳のHSを改めて見つめ直す機会となっています。これまでの経験と、大学生宣教団体スタッフとして、学生同士や大学生活から受ける影響と対策を踏まえ、私たちが考えているホームスクーリングのゴールを分かち合わせていただきたいと思います。

3-6 ■ 「次世代に伝えるべき命と性」

伊藤 こずえ

神様は私たちに命を与え、「生めよ。ふえよ。地を満たせ。創世記1:28」と創造の初めから祝福してくださっています。大人の私たちは、神様の愛と祝福を受け取っている者として、家庭で、教会で、地域で、この命と性の大切さを次世代にきちんと伝えることができているのでしょうか。世の中に氾濫している歪んだ性情報によって、私たちの性に対する意識も知らず知らずの内に歪ませられ、どのように伝えていったらよいのか困惑しているのではないのでしょうか。聖書に基づく命の教育、若者たちを取り巻く現状、具体的にどのようにアプローチしていったらいいのか等、助産師としての臨床の現場からも一緒に考えていけたらと思っています。年齢差のある高校生、中学生、小学生三人との日常も少し分かち合えたらと思います。

3-7 ■ 「ホームスクールにも

全ての進路が開かれています」

中村 昌代

恵み豊かな楽しいホームスクールができることを主に感謝する中で、やがて子どもたちは成長し、現実的に進路を考える時がやってきます。姉2人の歩みを通して、ホームスクールにも全ての進路が可能であることが実体験を通してわかりました。息子は高校生の年齢の今も家庭を中心に学んで進学準備をしています。学校が提供できるものではないもの、AO入試や推薦がないと不利かどうか、HSの進学準備の中で大切なことについてお話しいたします。

【分科会 4】

**4-1 ■ 「子どもたちの分野において
ソロモンを見つけ出す」
Seek Out The Solomon in Their Field
グレッグ・ハリス**

10代の子どもたちを困難に立ち向かおうと動機付けさせる、自分と同様に困難に立ち向かうヒーローを見つける方法を考えます。その人物との実際の関係を構築する重要性を確認します。

In this session we will identify the importance of getting our young adult children into actual relationships with the living heroes who are doing the same kinds of hard things that they aspire to do in their lives.

4-2 ■ 「不安障害と、ADHDや自閉症、学習障害との関連性を認識し、ホームスクーリングを通して癒しをもたらす方法」

Anxiety disorders and the connection with ADHD, Autism and Learning Disabilities. How to recognize them and bring healing through your homeschooling.

ジョイス・イノウエ

「アメリカ不安・うつ協会」が2017年5月に発表したところによると、ADHDの成人患者のうち約50%が不安障害を抱えています。アメリカのADHDナショナル・リソース・センターの推定では、ADHDの子どものうち30%が不安を覚える経験をしています。この分科会では、共存症（同時に2つ以上の疾患を有している状態）に関する情報をお伝えしながら、その症状の見分け方や、不安症状を癒すホームスクーリングの方法、逆に不安を高めてしまうホームスクーリングの進め方についてもお話しします。

According to the Anxiety and Depression Association of America as of May 2017, approximately 50 percent of American adults with ADHD also have an anxiety disorder. The National Resource Centre on ADHD estimate that up to 30 percent of children with the condition experience anxiety. This workshop will inform you of the co-existing symptoms, how to recognize them, and how anxiety can be healed or heightened by how you

homeschool your children.

**4-3 ■ 「第二言語として英語を習得するために」
テモテ・ブローマン**

ホームスクーラーの親として英語を教える自信がない。英語習得に必要な英語環境をどうつくる？学習している子どもが本当に理解できているのかが疑問？複数の兄弟がいてレベルが違う学習をどう効率的に…？等々。実際に英語を子どもに習わせているご家族、これから始めようとしている方のためにQ&Aの時間も設けます。

**4-4 ■ 「岩の上に家を建てる」
ギンター・マイケル&千為子**

子どもたちをホームスクーリングによって育てることは大きな喜びであり、素晴らしい恵みですが、その過程においては、実際様々な困難や試練があると思います。しかし神様は時になかった方法で私たちに知恵を与えてくださり、道を開いてくださいます。この時間は神様に賛美を捧げ、皆様からのQ & Aをお受けする時間とさせていただきたいと思います。私たちが知恵の心と判断する心を神様から頂き、愛と希望をもって、力強く前進することができるよう祈っています。

**4-5 ■ CSS (チアサポートスクール)
「ホームスクーリングは神様からの最強・最新の教育法！改革500日めのワクワクレポート！」
稲葉寛夫・堀井卓・伊澤聡一郎&恵美**

CSSは、全国のホームスクーリングムーブメントの推進を祈り、親と連携し、「魂の救い」、「キリストの弟子のこころを与える」、「伝道・世界宣教」の目的に向かって、ホームスクーラーの弟子訓練と勉強をサポートしています。「ホームスクーリングは神様が授けてくれた最強・最新の教育法」をモットーに、その果実の効果的な収穫を目指します。このセッションは、CSSチャレンジ編と改革1年を経ての最新情報です。まずは、500日の全体像。新体制での再スタート・通信制ファミランの拡充&バイブルミュージアム・ボランティアについて。1. CSSの目的・天国と伝道と勉強、2. 英数先行学習（英語多読&体系数学）、3. 理社の論述、4. ロードマップ作成とフォロー（ウィークリー・カウンセリング、三者面談、毎週の確認テストと定期テスト）、5. CSSコース紹介（通学制&通信制）。是非、ご参加ください！

4-6 ■ 「親も問われるホームスクール」
 ～主に従う確信、みことばの訓練～
 山川 高平&久子

2011年から始まったチャーチ & ホームスクールは今年で6年。神様からの訓練を頂きながらあわれみによりここまでできました。ホームスクールをする中、私たちが教えられていることは、子どももちろんですが、親もまた訓練されなければならないことです。主の訓戒を受け取り、みことばにより訓練されて成長するその喜びを分かち合えればと思います。

4-7 ■ 「虹って何色か知ってますか？」
 衣笠 健三&葉子

なんと12年ぶりの分科会！その間に子どもは5人から7人に増え、それぞれ23歳、20歳、18歳、16歳、13歳、9歳、7歳に。ホームスクール15年間の歩みの中で、妻の燃え尽き、夫は育休からの辞職など、苦しみの中を通らされ、そこからの家族の回復を通して、それにまさる圧倒的な主の恵みを経験しました。主の憐れみで今も家族9人楽しくホームスクーリングを続けています！“親もイエスさまからHSされている”“親も子もそれぞれの人生にすばらしい主のご計画がある”“本当に好きなことを見つける”等々、日々教えられていることを分かち合います！

【分科会 5】

5-1 ■ 「子どもたちに、もっと多く、より良いものを期待する」

Expect More & Better Of Them
 グレッグ・ハリス

私たち親が自分の子どもたちに対して持つことのできる否定的な期待と建設的な期待の力について明らかにし、私たちの悪い習慣や態度から抜け出す方法を学びます。

In this session we will expose the power of the negative as well as the positive expectations that we parents can have toward our own children and how to break out of our own bad habits and attitudes.

5-2 ■ 「ADHD、学習障害の最新の研究結果を、ホームスクーリングに生かす方法」

The latest reserch on ADHD, Learning Disabilities and how this will affect your

homeschooling

ジョイス・イノウエ

箴言 11:14 で神は次のように言われました。「指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る」。この分科会では、ADHD や学習障害、高機能自閉症に関する最新調査を分かち合い、どのような年間計画を立てればいいのか、また子どもを助けるために親が知っておくべきこと、さらに調査結果をどのようにホームスクーリングに生かしていくかをお話しします。お子さんに障害が無い場合でも、そのような方々を助けるミニストーリーに携わるように、神さまは皆さんを招いておられるかもしれません。イエスさまの愛をもって彼らを助けていくために、今回の講演内容を知っておくことは益となるでしょう。この分科会で、皆さんの人生を変える重要な情報を得てください。

God's says in Proverbs 11:14a, "Where there is no guidance the people fall. But in abundance of counselors there is victory." This workshop will share the latest research on ADHD, Learning Disabilities and high functioning autism, how you can be helped throughout the year, what you need to know to help your children and how this will affect your homeschooling teaching. If your children do not have challenges, God may be inviting you in a ministry for those God alerts you to, and you know can benefit as an outreach of Jesus' s love for them. This workshop will have vital information that can change your lives.

5-3 ■ 「神が用いる母」

The Mom God Uses
 ジャネット・マクタガート

ホームスクールをするという決断は容易ではありません。私にはできない！これがよく最初に出る反応です。自分にできるか疑っていた私が、どのように幼稚園から高校まで4人の子どもをホームスクールで育てる母となったか、詳しくお話しします。実際的な例を上げて、学んできたことをお分かちします。

The decision to homeschool is not an easy one. "I could never do that!" is often our first response to the idea. In this workshop the speaker will recount how she began as a doubter and became the mother of four

children, all of whom were home-schooled from Kindergarten through High-school graduation. With practical illustrations she will share some of the lessons she learned along the way.

5-4 ■ 「家族でできる文書配布伝道」

田村 正幸

「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を述べ伝えなさい。」これが、クリスチャンとして生きる者に与えられた、主の命令です。ホームスクールをして子どもを育てる目的がここにあります。あなたのホームスクールのカリキュラムに「伝道」という科目を入れてほしいのです。それは、子どもの成長に大きく役立つ主の教育カリキュラムです。その例として伊勢崎キリスト集会で展開する「東京路傍伝道」について紹介します。また、ホームスクールの教育教材についても「フェリーチェ玉村国際小学校」の取り組みを交えて紹介します。

5-5 ■ 「ホームスクール、次のステージに」

堀井 卓&ユリ

長男 22 歳、次男 20 歳になりホームスクール 2 人卒業、残り 3 人。と考えていたのですが…。先日、稲葉さんの話を聞いてそうでないことが分かりました。(チア・ニュースレター 166 号、「もう大人なので、本人と神様に任せます」は聖書的?) 年齢を重ねるごとに、一日の過ごし方、善悪の判断、進路、仕事、結婚など子どもたちに決断させなければならぬことも増えてきます。しかし、何歳になっても、私たちが親であることには変わりありません。

20 代の時に私たちにできることは何か、長男、次男とも話し、またメールなどで連絡を取り合い、御言葉から何が正しいか、何をすべきかを判断し、祈り御心を求めることを共に学んでいます。

長女は 16 歳になり、進路、仕事などを祈り始めていますが「毎日の祈り、聖書、家庭礼拝、お手伝い、勉強などひとつひとつ勤勉に、誠実にしていくときに、次の道が開かれてくるよ。神の国とその義を一番に。」と娘とも話しています。そして、三男 9 歳、四男 6 歳とは、できるだけ多くの時間を過ごすようにしています。朝、一緒に聖書を読み、祈り、お手伝いをする。夜は寝る前に歯磨きとお祈り。先日、休みの日には、三男、四男と駐輪場の改装工事。レンガを壊し、土を掘り起こし、特に切株を抜くのに大苦戦。子どもたちがイエス様の弟子として成長していく、そして共に神様のために働くことができる。ホームスクール

を通して、私たち夫婦も沢山のことを教えられ、神様の祝福と恵みを受けています。

5-6 ■ ～つばめ便り～

「桐山家のホームスクール近況アップデート & 13 年のホームスクールを通して最近特に教えられている事」

桐山 壘&明日美

現在ホームスクール 13 年目の桐山家。完全に体育会系の我が家はバレエ(長女)にサッカー(長男・次男)に、忙しく飛び回る上の子もたちとペースの違う下の子もたち(4 歳 & 2 歳)との狭間で息切れしそうな日々を送っています。分科会のお話をいただいた時には正直「こんな我が家に何が話せる?」と思ってしまいましたが、その後主人と頂いた恵みを数えてみると出てくる出てくる…!! 今回はそんな我が家が頂いた恵みの中から、最近特に教えられているいくつかのことを感謝と共にお分かちしたいと思っています。(・子どもたちを地の塩、世の光として育てる - 社会でもインパクトを与えるホームスクーラー、・年齢差のある子どもたちを同時にホームスクールするには?・ライフマネジメントの大切さ・夫婦の関係> 子どもとの関係・安息の大切さ・子どもたちのモチベーションを保つには? etc.)

5-7 ■ 「大事なことは何か？」

正しい選択はいつも聖書にあった!

南雲 信幸&恵理子

恵理子は独身時代にチア・スタッフに導かれ、信幸は結婚を前提としたお付き合いの中で、ホームスクーリングという神の教えを知りました。聖書は私たちに、人任せではなく親自身が責任を持って子どもに教え込むことを命じています。それは主が私たちを祝福する為に与える、唯一の方法です。ホームスクーリングに導かれた我が家の取り組みを振り返り、何かお役に立つことを見付けていただけたら嬉しいです。

♪ おすすめ ♪
格安チャーターバス (東京・大阪)
※完全予約制

1人でも多くの方が参加できるよう、
 チアからの精一杯の応援です！
 ※先着順 9名以上で運行

- 東京往復**
 (大人/中高生**¥8,500**、小学生/幼児**¥7,500**)
 11/23 東京 8:00 → ホテル 14:00
 11/25 ホテル 13:30 → 東京 18:00
- 大阪往復**
 (大人/中高生**¥9,980**、小学生/幼児**¥8,500**)
 11/23 大阪 6:30 → ホテル 14:20
 11/25 ホテル 13:30 → 大阪 19:30

★ ☆ **ホテル無料送迎バス** ☆ ★
 (長野・南小谷・白馬乗鞍)
※完全予約制

< 行き >

- 長野駅 12:00 発 (約 90 分)
- 南小谷駅 12:00 発、13:00 発
- 白馬乗鞍バス停 12:45 発

< 帰り >

- ホテル出発時間
- 長野駅行き 13:20 発
 - 南小谷駅行き 13:40 発

格安チャーターバス (先着 50 名) & ホテル送迎バス申込書
 FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com (締切 11/16)

代表者お名前 () 乗車人数 () 名 携帯番号 ()

ご希望のバスに○をつけて下さい 東京バス 大阪バス ホテル送迎バス (※↓)

※ホテル送迎バスの方は、ご希望の場所をご記入ください。 行き () 帰り ()

一般の交通手段のご案内

会場・宿泊先所在地：ホテルグリーンプラザ白馬
 長野県北安曇郡小谷村千国乙 12860-1
 アクセス情報→ www.hgp.co.jp/inf/Z01/hgp/access.html

★★★★電車★★★★

新宿駅 (中央本線特急 3 時間 39 分) - 南小谷駅 (片道 ¥7,780 ~)
 名古屋駅 (中央本線特急 3 時間 45 分) - 南小谷駅 (片道 ¥6,910 ~)
 大阪駅 (北陸本線特急 4 時間 18 分) - 糸魚川駅経由 (片道 ¥10,800 ~)
 各方面から新幹線 + 路線電車 - 長野駅 ●各駅から無料送迎バス (右上参照)

★★★★高速バス★★★★

バスタ新宿南口発 7:35 → 白馬町駅着 12:43 (片道 ¥4,850 ~ / 往復 ¥8,700 ~)
 バスタ新宿南口発 7:55 → 長野駅着 11:38 (片道 ¥4,800 ~)
 新潟駅前発 7:45 → 長野駅着 11:10 (片道 ¥3,290 ~ / 往復 ¥5,970 ~)
 大阪・京都・神戸方面 → 長野駅 (片道 ¥6,000 円 ~) ●各駅から無料送迎バス (右上参照)

★★★★自動車★★★★

中央自動車道経由・長野自動車道安曇野 I C から国道 148 号線約 60 km 約 90 分
 上信越自動車道長野 I C よりオリンピック道路・国道 148 号線経由約 60 km 約 90 分
 北陸自動車道経由糸魚川 I C から国道 148 号線 約 40 分 ※駐車場完備です！

★★★新幹線【東京ー長野】★★★ (片道 ¥7,680 ~)

行き (11/23) 東京駅発 (あさま 605 号) 9:44 → 長野駅着 11:33 (●送迎バス 12:00 発)
 東京駅発 (かがやき 509 号) 10:24 → 長野駅着 11:44 (●送迎バス 12:00 発)
 帰り (11/25) ●送迎バス 13:20 ホテル発 長野駅発 (はくたか 566 号) 15:20 → 東京駅着 16:52
 長野駅発 (あさま 622 号) 15:23 → 東京駅着 17:12

LIT 録音担当希望者 ★募集中★

LITは11/4現在、23名申込済。
残り1名！お急ぎください！



LIT (リーダーズ・イン・トレーニング) をしながら、分科会メッセージも聞きたいティーンたちの為に、『録音担当希望者枠』を新設しました。録音の奉仕に優先的に入り、聞きたいセッションを聞きに行くことができます！(希望の分科会が重なった場合は、調整があります。)既にLITに申し込まれた方も希望があれば、ご連絡ください。

*希望者は事務局まで。

白馬での自主企画、 好評につき今年も開催決定！！



『子どもカフェ』(コンベンション大阪にて)

☆こぞって応募ください。スペースに限りあり。

➡お早目にチア・オフィスまでお申し込みください！

<白馬セミナー2016>

- ・金喜望 シフォンケーキ
- ・セイヤー フィリピンの宣教企画
- ・棚田伊作 消しゴムスタンプ
- ・稲葉ジョセフ ジョセフクッキー

<コンベンション2017>

- ・藤本道子 英語での創作絵本
- ・辻創 絵本翻訳
- ・稲葉ジョセフ&伊澤キッズ 子どもカフェ
- ・乾親子 みことばプレスレット
- ・金喜望 シフォンケーキ
- ・奈良珠光 賜物SHOP

初企画！第1回 チア・賛美 作詞・作曲コンテスト ミニ！

オリジナル賛美曲のコンテストに挑戦です。プロ・アマ・年齢、問いません。作詞・作曲された曲を収録・アレンジくださり、ご応募ください。神様を賛美する曲であれば、ジャンルは自由です！

既に発表済み、CD発売済みの曲でもOKです。将来、入賞曲のCD化、WEBアップ等のために、著作権をご提供いただければ感謝です。(CD・WEB等、限定OK!)

締切：11月18日(土) チア・につぼん事務局必着

*応募音源は郵送またはメールで受け付けます。

*作品の返却はありません。

送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

チア・につぼん事務局「作詞作曲係」

office@cheajapan.com

入賞作品は、
白馬セミナーにて
発表します♪今年
はトライアルで
す。どなたでも、
こぞってご応募
ください！



第10回「レースカーグランプリ大会！」開催！



自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、今年も白馬セミナーで開催します!! 白馬でもキットを販売しますので、2日目夜までに完成させての参加もOKです(税込980円)。参加資格は、今年度制作のレースカー、重量は185g以下。重り等を重量を超えて加えることはルール違反となりますので、ご注意ください! 今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月16日(木)まで。郵送先はチア事務局へ(白馬参加の皆様はご持参ください)。作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただきます。

レースカーキットは、誰でも作れます! 形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチも必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、ごぞってご参加ください! 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ! 現在、キットの申込を受付中です。ご希望の方は、下記の申込書でお申込みください。

レースカーキット購入申込書
FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com

| | |
|---|----------|
| お名前 () | 携帯番号 () |
| 住所 (〒) | |
| レースカーキット 980円 × () 台 = () 円 | |
| ※ 5,000円以上のお買い上げで送料無料。通常5,000円未満の場合は送料400円がかかります。(沖縄・北海道は別) | |
| ※ 商品発送時に、郵便振替用紙を同封しますので、チアにつぼん 00190-3-35461 までお振込み下さい。 | |

第11回 チア・につぼん杯 読書感想文大会 募集中!

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。昨年も34作品の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております!

◆対象作品：チア書籍あるいは三浦綾子作品(どれでもOK)「ソウル・サーファー」

「イエスさまと十字架」「明泉学園の聖書絵本」もOK

◆部門：(1) 幼稚園の部(200～600字) (2) 小学生の部(400～1600字)

(3) 中高生の部(800～2000字) (4) 一般の部(800～2000字)

◆締切：11月16日(木)

◆発表・授賞式：11月23日(木)夜7時 白馬セミナー会場(予定)

◆送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

チア・につぼん事務局「読書感想文係」

(※メールでも受け付けています → office@cheajapan.com)

★読書感想文の裏に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・FAX番号・メールアドレスをご記入下さい。

♪千アオリンピックアンケート2♪

9/9 府中市民陸上競技場で行いました千アオリンピックの参加者の声第二弾をお届けします！



*****大人*****

●渋滞で遅れる、メインの競技はすでにスタート…張り切っていた子どもたちにも申し訳なく、我が家にとってはハプニング続きの今回のオリンピック。「主よ」と足りなかったことを悔い改めて、全てをおゆだねすることができ、与えられた恵みを存分に楽しむことができました。大小のチャレンジ、それをどう乗り越えていくのか、また周りのスタッフの方々や主にある兄姉がどのような対応をしてくださったのか。たくさんのお話を、今回のイベントを通じて得さ

せていただいたように思います。お忙しく走り回っておられるにもかかわらず、ひとつひとつ愛を持って対応してくださったこと、本当に、本当に感謝でした。とっても楽しいオリンピックでした。ありがとうございました！

(千葉 Aさん)

●大人から子どもまで楽しんでいて、見ていてうれしくなりました。全員が参加しようとする姿勢とそれを励ますプログラムが良かったです。小さな子どもも大人の真剣な姿に、特に主催者の真剣な取り組み姿勢に見習って行くのではと思わされました。(東京 Bさん)

●2ヵ月ぶりの晴天ということで、まさに主の祝福！！ホームスクーラーの子たちって素晴らしいな～。最後まであきらめない姿を見ることができました。また、競争をしつつも、仲間意識もあって皆、良い子だな～。皆、応援したり…Good！！(埼玉 Cさん)

●初めての参加でしたが、笑顔であたたかく迎え入れていただけに感謝でした。ホームスクーリングをしている方々と知り合えて、それも有意義でした。小さい子どもたちを連れての参加でしたが、小さな子ども一人一人も大切に

くださって感謝でした。長女は人生で初めての運動会でしたので自信がついて、とても良かったです。

(埼玉 Dさん)

●たいへん楽しかったです。いつもこのような機会を与えてくださること、本当に感謝です。子どもたちの生き生きとした様子が見られたことが大変良かった。競技の後、表彰の後など、みんながそれぞれ晴れやかな顔をしています。親もそうですね。メダルの効果は大きいと思います。

(長野 Eさん)

●今年もまた参加することができて、とても良かったです！毎年恒例行事になってきていて、家族や、一緒に行く友達とかと、チア・オリンピックに向けて練習したり、何の競技に出るか話し合ったりする時間も楽しくて好きで

す。今回は、青空の下で、みんなが走ったり運動している姿が見ていてすごく気持ち良かったです！今回、初めて金メダルをもらうことができたので、実はめちゃめちゃ嬉しかったです。最後までできる限りメダルを渡したいという皆さんの想いで表彰式を長くやってくさってとても嬉しかったです。

(長野 Fさん)

*****子ども*****

○たのしかった。しょうがいぶつきょうそうがたのしかったです。はくばがたのしいから、ずっとやってください。

(長野 Gくん 7歳)

○たのしかった。しょうがいぶつきょうそうが良かった。

(長野 Hくん 9歳)

○普段はなかなか思い切り走る機会がないので、たくさん走ることができてよかったです。同年代の友だちとたくさん交わることができて、とても良い時間を過ごせて、感謝です。本当にありがとうございました。

(東京 Iさん 16歳)

○今年のチア・オ

リンピックは最高！今までで一番よかった！1500mを家で練習した時は、夕方、薄暗い中で走っていたので楽しかったが、天気の良い中で走ると、とても苦しかった。でも、これも神様からの試練と考えて、頑張って走った。最後、足がふらついて、目の前がかすんだが、思い切って走りきることができた。

(東京 Jくん 11歳)

○リレーでやむを得なく私が走る事になってしまって、どうしようと思っていたら、ほかの皆が頑張ってくれて、良い思い出になりました。

(長野 Kさん 13歳)

○遅れてしまったけれど、ちゃんと走れてよかった。友だちと鬼ごっこをしてたくさん走りました。何回もつかまってしまいました。とても楽しかったです。ありがとうございます。

(千葉 Lくん 6歳)

○今回私は、足を捻挫してしまって走れず、計測などをさせていただいたのですが、皆の走っている姿を見ていると、走っちゃだめなのに、私も走りたくなって困りました(笑)。

ですが、皆の楽しそうに走っている姿を近くでたくさん見られてとても楽しかったです。来年こそはすべての種目に出たい！と強く思いました。自己ベストを出したいので練習頑張ります！！

(長野 Mさん 16歳)



千アわくわく勉強合宿 & ジョイスイミング ♪ アンケート ♪



●最近なかなか勉強に集中できていなかったので、集中して勉強しようと思い、今回参加しました。今までにないほど集中して勉強できました。友だちと同じ空間で勉強した事があまり無かったので、とても楽しかったです。又、水泳で友だちとタイムを競ったことも無かったので色々新鮮でした。忙しい中、勉強合宿を開いてくださりありがとうございます。お祈りしています。

(愛知 Dくん 13歳)

*****参加者*****

●初めての勉強合宿でした！新しいお友だちとの交流や講義、自習時間も含めてとても良かったです！！良い刺激になりました！自習時間の始めに、聖書の時間と暗算テストの時間があり、思いを神さまに集中してから勉強…というのがとても良かったです。数学の勉強法や感想文・小論文の書き方「親子で取り組む7つの秘訣-カンカラコモデケア」などの講義は、これからの勉強、試験対策に役に立つと思いました。

(神奈川 Aさん 14歳)

●とても楽しかったです。自習室の静かな雰囲気が好きでした。宮

崎先生の暗算トレーニングとレクチャーが特に良かったです。難しい問題もありましたが、1つ1つ丁寧に教えてくれました。次回からは自習する人も参加できる運動があるといいなあと思います。

(神奈川 Bさん 13歳)

●楽しかったです。あまり会うことのできない同年代のホームスクーラーと3日も一緒にいることができ良かったです。そしてみんなで勉強することができて良かったです。また行きたいです。みんなで集まり、一緒に行動して、一緒に勉強できてうれしいです。自分と同じような仲間と触れ合うことができ良かったです。

(兵庫 Cさん 13歳)

●勉強法や、「感想文、小論文の書き方-親子で取り組む7つの秘訣-カンカラコモデケア」、聖書など様々なジャンルの勉強にな





しても、勉強のその先にある本当の目的（伝道）へのアティチュードをより一層、引き締めることができましたと思います。

（宮城 Hくん 17歳）

●合宿は、ずっとみんなと一緒にいれて、とても楽しかったです。ジョイスイミングも多

り、とても良かったです。その後、母と一緒に観た『風立ちぬ』のエンディング『ひこうき雲』の歌詞にもカンカラコモデケアが使われていてびっくりしました！本や雑誌を読むときにもカンカラコモデケアを意識するようになり、確かにいわゆる名作や自分が気に入っている本、新聞の評論などには、カンカラコモデケアが沢山使われていて、とても良いことを教わったと思いました。将来、評論文や小論文を書く時に役立てたいです！（東京 Eさん 16歳）

●多読の時間が楽しかったです。あまり本は好きではなかったのですが、英語の本は読めると楽しくて、10冊読めました。プールの時、25mクロールに出場しました。最初はあまり乗り気ではありませんが、泳ぎ切った時に、「早かったね」とほめてもらって、うれしかったです。友だちと鬼ごっこもできて楽しかったです。また来年も行きたいです。

（埼玉 Fさん 11歳）

●稲葉さんが教えてくださった「カンカラコモデケア」がとても良く、家では、デボーションでも勉強でもカンカラコモデケアを唱えながら文章を書いています。また、ぼくは数学があまり好きではなく、一年の目標が達成できなようなペースだったのですが、宮崎先生の数学のセッションに出てから、何故か数学が得意な科目になり目標に間に合いそうです。ジョイスイミングにも参加させてもらいました。今回、仲間と一緒に競い合うことで自己ベストのタイムを出すことができました。多くのものを得ることができ感謝でした。

（埼玉 Gくん 14歳）

●昨年もそうでしたが、今年も全国から来ている多くの友だちと過ごせて文字通り「わくわく」できました。こういう機会を通して将来のことや、勉強に対する考え方を同年代の友だちと分かち合えたのはとても有意義でした。自分と

読も工作も、外でみんなで遊ぶのも、楽しかったです。

（東京 Iさん 6歳）

●英語の本を初めて沢山読めました。英語で読めることがうれしくて、だんだん面白くなって、沢山読めるようになりました。プールでは、初めて先生に教えてもらって、勉強になりました。新しいお友だちも沢山できてうれしかったです。（埼玉 Jさん 6歳）

*****保護者*****

●初参加で子どもたちと一緒に一泊二日を過ごさせて頂きました。いつもより交わりの機会が多かったし、初めてお会いするホームスクーラー親子もおられ、皆さんのホームスクールのお話を聞いて、貴重な情報も頂き、また大変励まされました。稲葉さんの「カンカラコモデケア」、多読体験、ジョイスイミングが特に充実した時間でした。（埼玉 Kさん）

東京路傍伝道

5年前から、伊勢崎のチャーチ&ホームスクーラーたちのリーダーシップで進められてきた「東京伝道」チーム。これまで約130万世帯を終え、現在北区を終了するところです。滅びゆく日本の魂のために、宅配トラクト&聖句プラカード伝道に参加してみませんか。どなたでも大歓迎です。1時間でも参加できる方は、ぜひ、どうぞ！（事前に必ず、ご連絡ください。）

伝道は主に従うこと、そこに神様からの恵みと祝福があり、クリスチャンの成長があります

クリスチャンとは主に従う者たちです。弟子たちは主と共に伝道しました。あなたも、東京伝道に参加してみませんか。

★東京伝道★

11/23（木） 集合場所：赤羽駅
12/23（土） 集合場所：上野駅

（他に毎月第2・4日曜日午後5時から、高崎駅にて賛美と配布をしています。）

★時間：10:00～16:00

★連絡先：

0270 - 21 - 6991（福音館）
080 - 5682 - 9726（田村）
090 - 6147 - 2428（森下）

<http://www.isesaki-fukuin.com>

伊勢崎福音館のQRコード
ぜひ、ご登録ください。



伊勢崎・千ア伝道 Day! 参加者感想

9/18に上野にての伊勢崎・千ア伝道 Day の感想です！

●今日も、楽しかった！また行きたい！！と息子たちが喜んで帰ってきました。ポスティングが楽しかったこと、Aくんの近くでゲームをしていた男の子たちにも積極的にトラクトを渡していてすごかったこと、ポスティングしていると近くを歩いていたおばさんが、偉いね、ジュース買ってあげようか、と言ってくれたこと、みんなで美味しいお弁当食べたこと、等々聞きました。主の働きに幼いながらも加えさせていただいたこと、伊勢崎の皆さん、千アの皆さんに心から感謝です！ありがとうございました！！

（東京 Aさん）



♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

★チア・オリンピックではお世話になりました。いつも大変な準備と運営のご労をありがとうございます。オリンピックも回を重ねるごとに、だんだん皆さんのお名前を憶えることが出来、子どもたちの成長も見えるようになり、その子が背負っている背景なども知るようになってきて、素直に家族というか親戚のような感覚を持つようになってきました。オリンピックなどを通して人の子の将来がだんだん他人事でなくなってきたという意識の変化もあります。このあたり、Aさんがオリンピックでおっしゃっていた「最近『行かなきゃ』になってきている」というコメントと似た感じなのかな、と思います。



チア・コンベンション東京にて

コンベンションの分科会「お父さん集まれ！」も盛り上がり、全然時間が足りませんでした。お父さんたちのニーズも一部明らかになってきました。みんなでお祈りした時の写真を添付します。あの時の雰囲気がよく現れていると思います。その後、お父さんたちの情報交換のために、サイボウズLiveという掲示板とファイル交換のサイトを立ち上げました。お父さんとして大歓迎なので、ご興味のある方はチア事務局までメールにてお知らせください。 (東京 志賀 信泰さん)

★ニュースレターを送って下さり、ありがとう

ございます。励まされています。今期もメンバー登録をお願いします。お働きに感謝します。今月の白馬には参加出来ませんが、CDで聴くのを楽しみにしています。祝福を祈ります。

(山梨 Bさん)

★NL166号を読んで、涙が出ました。私たちが、この世で損だと思うことや、思われることを、あえて選んでしているのは、命をかけてこられた先輩方がおられるから。創造主であられる方、人としてこられたイエス様を信じ、聖霊様がともにいてくださる。『私たちが信じる 神様は、生きておられます!!』ああ、早く、主のみもとで いろんな方の証が聞きたい。永遠に時間があってもどんなに短く感じることでしょ。淵で歯ぎしりすることの無いように、主に従い切ることができますように。お互いに、励まし、祈り合うことが必要だなあ…って、つくづく感じます。稲葉さん、レポートをありがとうございました。編集して下さったスタッフの方々のご苦勞も十分に労われますように。 (大阪 Cさん)

★主の御名をほめたたえます。ニュースレターを送り続けていただいているのに、何の応答もないままにいたことを申し訳なく思っています。送付終了の希望でしたが、ニュースレター166号を読ませていただき、WEBメンバーとして読ませていただきたく、ご連絡します。我が家は、子ども2人共、公立校に通わせ続けています。私たち夫婦にはホームスクーリングはできず、でもニュースレターを送っていただき、どうしようかと思っていました。けれども166号の「大正・昭和の大リバイバルと厳しい弾圧」を読み、自分が思っていた日本のキリスト教会の違和感と共通するものが書かれており、一気に読んでしまいました。今までホームスクーラー

と我が家との間に、大きな壁があるように感じていたのが、今回のニュースレターで崩れたように感じました。うまくお伝えできていないと思いますが、これからもキリストにある皆様の活躍を心より応援いたします。

(東京 Dさん)

★今回のコンベンションは大阪と東京どちらも参加させていただきました。大阪は初めて参加し、普段あまり会えない友だちに会えたり、東京とはまた違った雰囲気でもとても楽しかったです。「ホームスクーリングドロップアウト」の映画は、3回目だったのですが、今回は自分の弱さに気づかされたり、またホームスクールで育てられたことが特別なことで感謝しないといけないと思われました。来年もできれば大阪、東京どちらも参加したいです。今回初めてLITをやりました。やりたいなと思った理由はチアの、特にチルミニを手伝いたいと思ったのと、他のLITの子どもたちと一緒に交わりたいたいなと思ったからです。実際やってみて、子どもたちと遊んだり、録音したり、すごく楽しかったです。他のLITと仲良くなれたのも嬉しかったです。LITをやって良かったなと思いました。チアには大人になってもお世話になりたいと思っているので、これからもよろしく願いいたします。良い時をありがとうございました。

(長野 Eくん)

★グレッグさんのピンチヒッターとして、スコットさんが来てくださったこと、まず、そのことだけでもすごい奇跡で、お話を聞いてゾクゾクしました。主のみわざですね！去年のコンベンションに1人で参加して、夜の自己紹介タイムに、10年ぶりくらいで出た時に、「来年は家族全員でこの場に立って自己紹介したい」という思いが与えられて祈り始めました。祈りが聞かれて、全員で参加できて本当にうれしかったです。全員での参加は、11年ぶりでした！スコットさんの基調講演、分科会が良かったです。グレッグさんの講演をきいて、HSに導かれたお話や、グレッグさんなら、こういう話をされたいだろうというトピックで話してくださって、スコットさんのお話を通してグレッグさんの心も伝わってきた気がしました。突然の依頼にも関わらず、飛んできてくださったスコットさん。以前ビデオでおっしゃっていた「アメリカはお兄ちゃんだから、弟のためにいつでも助けに行くよ」という言葉の通り、本当に日本のホームスクーラーや、チアを愛してくださって、行動してくださる方だと分かり、感動しました。お父さんのための実践的なアドバイスも素晴らしかったです。本当にありがとうございました！今回、OBの方がお風呂の中で、後輩たちに愛をもって関わってくれてとてもよかった、と息子が言っていました。OB・OGの子たちが主に仕える模範を見せてくれたら、素晴らしいと思います。

(長野 Fさん)

★お誕生日おめでとう★

チルミニリーダーの十三男
& 正(まさ)・ブローマン夫妻
に第二子誕生です！

8月20日 生まれ
岩佐 凜(りん)ちゃん



チア・にっぽん カレンダー

- 白馬セミナー
11月23(木)～25日(土)
◇ホテル・グリーンプラザ白馬
講師：グレッグ・ハリス氏
ジョイス・イノウエ女史
- ジョイラン 4月上旬
- コンベンション 2018
大阪 6月1日(金)・2日(土)
◇大阪府羽衣青少年センター
東京 6月8日(金)・9日(土)
◇オリンピック記念青少年総合センター
- サマーキャンプ 8月13日(月)～15日(水)
(LITは10日～)
- オリンピック 9月

【9月会計】

| 収入 | |
|-------------|-----------|
| 献金 | 1,403,100 |
| 書籍・教科書 | 94,345 |
| 会費 | 63,000 |
| 広告 | 130,000 |
| DVD/CD、ビデオ等 | 16,079 |
| その他 | 209,765 |
| 1,916,289 | |
| 支出 | |
| 事務局経費 | 1,226,801 |
| 通信運搬費 | 60,244 |
| 交通費 | 223,235 |
| 印刷費 | 330,357 |
| DVD & 商品仕入費 | 0 |
| 1,840,637 | |
| 残高 | 75,652 |
| 前期繰越 | -45,016 |
| 翌期繰越 | 30,636 |

☆尊い献金、会費の送金を、
心から感謝いたします。

コンベンション 講演・分科会 CD・DVD

全64講演を収録したコンベンションDVD、(コンピューター用・mp3版)には、特別講師の講演のパワーポイントデータも入っています。お申込みは、チア事務局へ！

定価 6800円(税込)

新・栄養医学 ガイドブック

サプリがもたらす健康の回復

マリア・クリニック院長
柏崎良子

神は健康の設計図をDNAの中に記しています。身体の機能、栄養素の働き、病気に対する聖書的・栄養医学的見解を理解して心身の健康を獲得しましょう。



クリスチャン医師の柏崎良子が、分子整合栄養医学の開拓者・第一人者として多くの病気や障害を治療してきた経験・知識・治療方法を詳細に説明した、開業30周年の労作です。

大好評発売中 / 363頁
定価 2,700円+税

株式会社ヨーゼフ ご注文はTEL/FAX、アマゾンでの購入も可能です
<http://yozeff.com/> TEL 043-207-6035 FAX 043-207-6036



チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807 FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com